（3）　各事業・取組の実績と評価・検証

４か年の事業・取組の具体的な内容や効果を、写真、図表等を用いて説明します。

ア　市民とともに次世代につなぐ森を育む

1　緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

- 市内に残るまとまりのある緑地を保全して次世代に引き継ぐため、緑地保全制度による地区指定を積極的に進めます。
- 特別緑地保全地区等の指定地で、土地所有者の不測の事態等による買入れ申し出に対応します。
- 市民の森において、市民が森に親しめるような散策路などの整備を行います。また、市が取得した樹林地での柵の設置などの初期整備を行います。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	緑地保全制度による新規指定	不測の事態による買取希望等への対応
平成 26 年度実績	101.7ha	18.2ha
平成 27 年度実績	102.5ha	24.1ha
平成 28 年度実績	62.4ha	24.7ha
平成 29 年度実績	61.8ha	21.5ha
４か年累積［a］	328.4ha	88.5ha
５か年目標・想定［b］	目標　500ha	想定　108ha
４か年計画値［c］	400ha	86.4ha

▼目標･計画値に対する進捗率

	緑地保全制度による新規指定		不測の事態による買取希望等への対応	
５か年目標・想定に対する進捗率［a／b×100］	66%	○	82%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	82%		102%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	5,878　百万円	677　百万円
平成 27 年度決算額	6,390　百万円	1,151　百万円
平成 28 年度決算額	6,250　百万円	913　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	5,741　百万円	948　百万円
４か年累積見込額［d］	24,260　百万円	3,689　百万円
５か年計画額［e］	32,494　百万円	3,556　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	75%	○	104%	◎

４か年の評価・検証

○土地所有者への働きかけを積極的に実施しており、指定実績は、４か年計画値の約８割、328.4ha となっています。

○近年では、比較的小規模な樹林地で指定の働きかけを進めている案件が多くなっており、大面積での指定案件は少なくなっています。この傾向は、今後も続いていくと考えられます。

○指定地での買入の希望に対して、横浜みどり税を活用して確実に対応してきたことで、88.5ha（約 22ha/年）の樹林地を市有地として保全することができました。

○みどりアップ計画の取組が、樹林地所有者の間で広く知られるようになり、以前は指定に至らなかった案件の中でも、再度の働きかけを行い指定できた案件も増えてきました。目標達成のためには、このような事業の周知や PR、再度の働きかけも重要と考えています。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 緑地保全制度による新規指定

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全地区	149.7ha	鶴見	馬場五丁目地区（0.4ha）、東寺尾六丁目地区（0.9ha）、東寺尾六丁目南地区（0.3ha）
		神奈川	片倉三丁目地区（1.0ha）、三枚町牛道根地区（0.2ha〈指定拡大〉）、三枚町矢崎地区（0.2ha）、菅田町出戸谷地区（0.2ha〈指定拡大〉）、菅田町堀上地区（0.3ha〈指定拡大〉）、菅田町南出戸地区（3.0ha）、羽沢町綿打地区（0.4ha）、羽沢南三丁目地区（0.4ha）、菅田町赤坂地区（0.5ha）、羽沢町相原地区（0.6ha）、羽沢南四丁目地区（0.3ha）
		港南	野庭町地区（3.7ha）、野庭・上永谷地区（1.1ha）
		保土ケ谷	今井町多子谷地区（2.1ha）、今井町美立橋地区（5.0ha）、上菅田町金草沢東地区（1.0ha）、境木本町地区（0.8ha）、仏向町地区（1.9ha）、今井町大久保地区（0.3ha）、仏向西地区（0.4ha）
		旭	市沢町日向地区（0.6ha）、上川井町堂谷地区（3.5ha）、上白根町小池地区（2.7ha）、川島町二ノ沢地区（0.8ha）、市沢町地区（2.4ha〈指定拡大〉）、上川井町露木谷地区（10.3ha）、川井本町地区（2.3ha）、都岡町地区（1.6ha）、上白根町後谷地区（2.5ha）、三保地区（0.2ha＜指定拡大＞）、今川町地区（1.0ha）、上川井町大竹谷地区（1.0ha）、中沢二丁目地区（1.0ha）
		磯子	氷取沢町地区（2.2ha）
		金沢	朝比奈地区（3.9ha〈指定拡大〉）、六浦東三丁目地区（0.6ha）、関ケ谷地区（2.8ha）、大道二丁目地区（2.3ha）、富岡東五丁目地区（0.9ha）、富岡東三丁目地区（1.6ha）
		港北	小机城址地区（0.1ha〈指定拡大〉）、大曽根台地区（0.7ha〈指定拡大〉）
		緑	北八朔町北地区（1.2ha）、北八朔町中地区（1.0ha）、北八朔町南地区（2.5ha）、十日市場町笹山地区（0.7ha）、長津田町深田地区（1.5ha）、三保地区(8.3ha〈指定拡大〉)、三保町東谷地区(2.9ha)、三保町杉沢地区（0.2ha）、三保町杉沢堰地区（0.6ha）、寺山町本谷地区（0.4ha）、長津田町馬ノ背地区（0.8ha）長津田町長月地区（1.2ha）、天神の杜地区（0.4ha〈指定拡大〉）
		青葉	恩田町地区（4.4ha）、恩田町九郎治谷地区（0.7ha）、恩田町番匠谷地区（1.4ha）、恩田東部地区（9.2ha〈指定拡大〉）、鉄町冨士塚台地区（0.8ha）、鉄町稲荷谷戸地区（1.1ha）、奈良町宮ノ谷地区（5.4ha）、元石川町平崎地区（1.0ha）、元石川町平崎北地区（1.2ha）奈良町神戸地区（0.4ha）、奈良町西ノ谷地区（1.4ha）、恩田町日影山地区（1.3ha）、鉄町下ノ谷戸地区（1.2ha）、桜台地区（0.8ha）
		都筑	大棚町地区（0.5ha）、池辺町滝ケ谷戸地区（0.3ha〈指定拡大〉）
		戸塚	下倉田町地区（1.4ha）、名瀬・上矢部地区（0.4ha）、東俣野町地区（1.3ha）

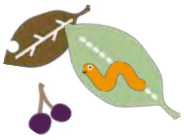
（次頁に続く）

		栄	上郷・中野地区（2.4ha<指定拡大>）、上郷町瀬上地区（1.5ha）、上郷町石原地区（10.9ha）、上郷町深田地区（0.3ha）
		泉	和泉町関島地区（1.5ha）、和泉町天王森地区（0.6ha）、和泉町早稲田地区（2.0ha）、岡津町金堀谷地区（0.5ha）、新橋町地区（2.2ha）
		瀬谷	阿久和南一丁目地区（1.3ha）、本郷三丁目地区（0.3ha）、宮沢三丁目地区（0.3ha）
市民の森等	39.6ha	鶴見	獅子ケ谷地区（0.03ha<指定拡大>）
		保土ケ谷	今井・境木地区（0.6ha<指定拡大>）
		旭	今宿地区（0.1ha<指定拡大>）、追分地区（0.2ha<指定拡大>）、南本宿地区（0.1ha<指定拡大>）、（仮称）上川井地区（10.1ha）
		磯子	峯地区（3.1ha<指定拡大>）、氷取沢地区（0.8ha<指定拡大>）
		金沢	朝比奈北地区（0.7ha<指定拡大>）、氷取沢地区（9.7ha<指定拡大>）釜利谷地区（1.6ha<指定拡大>）、富岡東三丁目地区（1.5ha<指定拡大>）
		緑	新治地区（0.5ha<指定拡大>）、三保地区（0.1ha<指定拡大>）、台村地区（2.0ha）
		青葉	（仮称）恩田地区（0.3ha<指定拡大>）
		都筑	池辺地区（0.9ha<指定拡大>）
		戸塚	（仮称）名瀬・上矢部地区（3.9ha<指定拡大>）、舞岡ふるさとの森（0.03ha<指定拡大>）
		栄	上郷地区（0.1ha<指定拡大>）、瀬上地区（0.2ha<指定拡大>）
		泉	新橋地区（1.0ha<指定拡大>）、古橋地区（2.0ha）
		瀬谷	瀬谷地区（0.1ha<指定拡大>）
緑地保存地区	32.6ha		107 地区
源流の森保存地区	98.4ha		174 地区
寄附緑地等	8.1ha		
【合計】	328.4ha		

【写真】恩田東部特別緑地保全地区（青葉区）

【写真】名瀬・上矢部特別緑地保全地区（戸塚区）

■　**買入れ申し出への対応**

制度	区名	地区名
特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区（予定地含む）	鶴見	駒岡・梶山地区、獅子ケ谷・師岡地区、東寺尾六丁目地区、東寺尾六丁目南地区
	神奈川	三枚町地区、菅田町出戸谷地区、菅田町南出戸地区、神大寺二丁目地区、三枚町矢崎地区
	南	中里三丁目地区
	港南	芹が谷五丁目地区、野庭町地区
	保土ケ谷	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区、上菅田町金草沢東地区、川島地区
	旭	市沢町地区、猪子山地区、上川井町大貫谷地区、上川井町堂谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川井本町地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、都岡町地区、鶴ケ峰二丁目地区、南本宿地区、三保地区、追分地区
	磯子	円海山地区、峰地区、氷取沢地区
	金沢	朝比奈地区、大丸山地区、釜利谷地区、大道二丁目地区
	港北	大曽根台地区、小机城址地区、綱島地区、日吉地区
	緑	鴨居四丁目地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、寺山町本谷地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、西八朔町藤林地区、三保地区（再掲）、三保町杉沢地区、三保町東谷地区、鴨居原地区、長津田町馬ノ背地区
	青葉	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区、鉄町冨士塚台地区、寺家地区、奈良町神戸地区、元石川町平崎地区、奈良町宮ノ谷地区
	都筑	池辺町滝ケ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区
	戸塚	下倉田町地区、汲沢四丁目地区、舞岡地区
	栄	飯島町地区、円海山地区、大丸山地区、鍛冶ケ谷地区、上郷・中野地区、公田・荒井沢地区
	泉	和泉町早稲田地区、岡津町金堀谷地区、鍋屋地区、古橋地区、新橋町地区
	瀬谷	本郷三丁目地区、宮沢三丁目地区

（次頁に続く）

市民の森等	鶴見	獅子ケ谷地区、東寺尾地区
	旭	追分地区、南本宿地区
	磯子	峯地区
	金沢	富岡東三丁目地区
	港北	篠原城址地区、綱島地区
	緑	新治地区
	戸塚	深谷地区、舞岡地区、上矢部地区
	栄	瀬上地区
	泉	新橋地区、中田地区
	瀬谷	瀬谷地区、東山地区
【合計】	95 地区　88.5ha	

【写真】日吉特別緑地保全地区
（港北区）

【写真】上川井町堂谷特別緑地保全地区
（旭区）

2　森づくりガイドライン等を活用した森の育成

- 森づくりガイドライン等を活用し、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進します。
- 愛護会などと連携し、森ごとの具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定し、森づくりを推進します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	ガイドライン等を活用した維持管理		保全管理計画の策定	
	（樹林地）	（公園）	（樹林地）	（公園）
平成 26 年度実績	109 か所	11 か所	３か所	５か所
平成 27 年度実績	121 か所	14 か所	３か所	３か所
平成 28 年度実績	131 か所	18 か所	２か所	４か所
平成 29 年度実績	128 か所	29 か所	４か所	１か所
４か年累積［a］	489 か所	72 か所	12 か所	13 か所
５か年目標［b］	推進	推進	15 か所	10 か所
４か年計画値［c］	推進	推進	12 か所	８か所

▼**目標･計画値に対する進捗率**

	ガイドライン等を活用した維持管理		保全管理計画の策定			
	（樹林地）	（公園）	（樹林地）		（公園）	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	―		80%	◎	130%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	―		100%		163%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成26年度決算額	392　百万円	251　百万円
	平成27年度決算額	431　百万円	281　百万円
	平成28年度決算額	478　百万円	340　百万円
	平成29年度決算見込額 ※平成30年4月30日時点の数値	495　百万円	351　百万円
	４か年累積見込額［d］	1,797　百万円	1,223　百万円
５か年計画額［e］		2,100　百万円	1,323　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	86%	◎	92%	◎

４か年の評価・検証

○ 市民の森、まとまった樹林のある公園等において目標を上回る箇所で保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共通の認識を持ちながら、維持管理を進めることができました。

○ 樹林地に手を入れることにより、森が明るくなったほか、作業の工夫によって里山にみられる希少な野草が増え、また鳥の生息が確認できるなど、生物多様性の保全につながる成果が表れています。

○ 樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全に資するため、市民協働による保全管理計画の策定等を推進するとともに、作業の結果を調査・検証し、維持管理作業を見直しながら継続的に行っていくことが必要です。

○ 市が取得した樹林地の総量は年々増加しており、これに対応した新たな管理手法の検討が必要です。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。

【写真】維持管理を実施した樹林地
（左：栄区/小菅ケ谷北公園　　右：港北区/綱島市民の森）

■ 保全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

策定か所		区名
市民の森等	東寺尾ふれあいの樹林	鶴見
	境木ふれあいの樹林	保土ケ谷
	善部町特別緑地保全地区	旭
	関ケ谷市民の森	金沢
	朝比奈北市民の森	金沢
	綱島市民の森	港北
	もえぎ野ふれあいの樹林	青葉
	上郷市民の森	栄
	飯島市民の森	栄
	川和市民の森	都筑
	名瀬北特別緑地保全地区	戸塚
	まさかりが淵市民の森	戸塚
まとまった樹林地のある都市公園	久良岐公園	港南
	港南台中央公園	港南
	こども自然公園	旭
	北八朔公園	緑
	玄海田公園	緑
	大塚・歳勝土遺跡公園	都筑
	鴨池公園	都筑
	茅ケ崎公園	都筑
	都筑中央公園	都筑
	小菅ケ谷北公園	栄
	本郷ふじやま公園	栄
	瀬谷貉窪公園	瀬谷
	長屋門公園	瀬谷

【写真】
保全管理計画の策定　検討会の様子
（戸塚区/まさかりが淵市民の森）

3　指定された樹林地における維持管理の支援

● 緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部などの危険・支障樹木の管理作業を支援します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	維持管理の支援
平成 26 年度実績	132 件
平成 27 年度実績	103 件
平成 28 年度実績	83 件
平成 29 年度実績	87 件
４か年累積［a］	405 件
５か年目標［b］	650 件
４か年計画値［c］	520 件

▼目標・計画値に対する進捗率

	維持管理の支援	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	62%	○
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	78%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	89　百万円	89　百万円
平成 27 年度決算額	76　百万円	76　百万円
平成 28 年度決算額	65　百万円	65　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	64　百万円	64　百万円
４か年累積見込額［d］	294　百万円	294　百万円
５か年計画額［e］	600　百万円	600　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	49%	△	49%	△

４か年の評価・検証

○ 緑地保存地区等において土地所有者への維持管理助成により、危険樹木除去等の管理を進め、樹林地の保全に寄与しました。
○ 継続して取り組むことで、土地所有者による樹林地管理の負担感を軽減し、樹林地の継続保有への意欲につながっていると考えられます。
○ 助成金を活用し、計画的な維持管理をしている土地所有者も増えてきています。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ **指定された樹林地における維持管理の支援**

緑地保全制度により指定した民有樹林地の外周部において、隣接する住宅や道路等に対して危険な樹木や電線等の支障になっている樹木のせん定・伐採、火災や不法投棄等の恐れがある草地の草刈等の維持管理費用を助成しました。

＜区別実績＞

区名	件数	区名	件数
鶴見	11	金沢	36
神奈川	12	港北	36
西	3	緑	30
中	7	青葉	25
南	6	都筑	32
港南	23	戸塚	※52
保土ケ谷	28	栄	※27
旭	25	泉	23
磯子	14	瀬谷	17
		合計	405

※戸塚区・栄区をまたがる実績が２件あり、合計が一致しません

【写真】
作業前（上）と作業後（下）（南区）

助成利用者の声

・自費だけでは多額の負担が出てしまう現場も自己負担を減らすことができました。
・道路や電線にかかり危険であった現場もきれいになり、長年の課題が解決しました。

4　生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

● 防災や安全面の対策が必要な緑地の法面を対象に、生物多様性にも配慮した法面整備を推進します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上
	平成 26 年度実績	施工中１か所
	平成 27 年度実績	整備３か所
	平成 28 年度実績	整備５か所
	平成 29 年度実績	整備４か所
	４か年累積［a］	12 か所
５か年目標［b］		10 か所
４か年計画値［c］		８か所

▼目標・計画値に対する進捗率

	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	120%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	150%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	68　百万円	68　百万円
	平成 27 年度決算額	114　百万円	68　百万円
	平成 28 年度決算額	125　百万円	125　百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	158　百万円	158　百万円
	４か年累積見込額［d］	465　百万円	420　百万円
５か年計画額［e］		1,000　百万円	1,000　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	47%	△	42%	△

４か年の評価・検証

○ 危険斜面の整備については、着実に進捗しています。

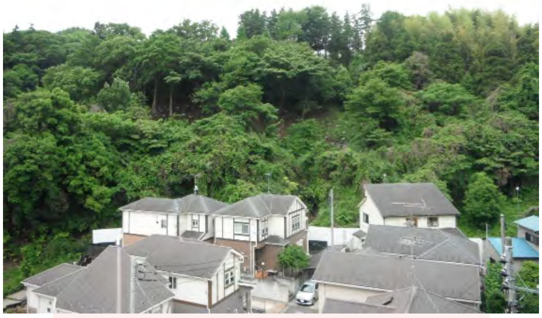
○ 対象となる緑地の状況に合わせた工法およびその効果について、引き続き検証が必要です。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上

危険な斜面地のある獅子ケ谷市民の森（鶴見区・２か所）、白幡西緑地（神奈川区）、上山・白山特別緑地保全地区（緑区）、岡村一丁目緑地（磯子区）、宮田緑地（保土ケ谷区）、川島特別緑地保全地区（保土ケ谷区）、舞岡ふるさとの森（戸塚区・２か所）、舞岡特別緑地保全地区（戸塚区）、荒井沢市民の森（栄区）、上郷市民の森（栄区）において、生物多様性にも配慮した防災や安全性の対策工事を実施しました。



【写真】法面の整備
（保土ケ谷区/川島特別緑地保全地区）

【写真】法面の整備
（栄区/上郷市民の森）

5 間伐材の有効利用

● チッパーの貸出しなどにより、間伐材の有効活用を推進します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		チッパーの貸出し
	平成 26 年度実績	20 回
	平成 27 年度実績	11 回
	平成 28 年度実績	8回
	平成 29 年度実績	7回
	４か年累積［a］	46 回
５か年目標［b］		推進
４か年計画値［c］		推進

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	5　百万円	4　百万円
	平成 27 年度決算額	3　百万円	2　百万円
	平成 28 年度決算額	4　百万円	3　百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	3　百万円	2　百万円
	４か年累積見込額［d］	14　百万円	11　百万円
５か年計画額［e］		45　百万円	40　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	31%	△	28%	△

４か年の評価・検証

○森の手入れで発生した間伐材のチップ化作業支援により、チップを園路に敷くなど、間伐材を現地で活用することで、樹林地の維持管理に貢献しました。
○森の手入れで発生した間伐材を使用して、新たにクラフトキットや樹名板の作成などの取組も開始し、イベント等で好評を得ました。こうした取組は森づくり活動を幅広い市民にアピールできる取組と考えられます。
○今後も、市内で発生する材を活用して、横浜の森づくりやクラフトによる普及啓発を行う等、木材の地産地消を実践します。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 間伐材チップ化作業支援

市民の森等で活動する森づくり活動団体の維持管理活動により生じた間伐材をチップ化して園路に敷くなど有効活用を図るため、チップ化作業の支援を行いました。

実施か所	区	回数
川井特別緑地保全地区	旭	10
関ケ谷市民の森	金沢	2
緑地保存地区（能見台東）	金沢	4
新治市民の森	緑	4
鴨居原市民の森	緑	3
もえぎ野ふれあいの樹林	青葉	7
茅ケ崎公園	都筑	7
鯉ケ久保ふれあいの樹林	泉	1
古橋特別緑地保全地区	泉	3
源流の森（和泉町）	泉	4
環境活動支援センター	保土ケ谷	1
	【計】	46

【写真上】チップ化作業支援の様子/
【写真下】チップの敷均しの様子
（青葉区　もえぎ野ふれあいの樹林）

間伐材チップ化作業支援を利用した森づくり活動団体の声

・専用の機械で効率的に作業が進み、助かりました。

■ 間伐材利活用方法の検討

市内で発生する間伐材を有効活用しながら、森への関心をより多くの方にもってもらうため、森の手入れで発生した間伐材を活用しクラフトキットや樹名板を作成しました。

作成数	平成 28 年度	平成 29 年度
マグネット	200	2,000
キーホルダー	100	2,000
樹名版	-	100

【写真】市内産木材を使用した
樹名板とクラフト

６　森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。
また、森づくりに関する情報発信を行います。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	森づくり活動団体向けの研修の実施	森づくりボランティアへの情報発信（ニュースレター発行）
平成 26 年度実績	16 回	４回
平成 27 年度実績	14 回	４回
平成 28 年度実績	11 回	４回
平成 29 年度実績	12 回	３回
４か年累積［a］	53 回	15 回
５か年目標［b］	推進	推進
４か年計画値［c］	推進	推進

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	９　百万円	９　百万円
平成 27 年度決算額	６　百万円	６　百万円
平成 28 年度決算額	６　百万円	６　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	５　百万円	５　百万円
４か年累積見込額［d］	26　百万円	26　百万円
５か年計画額［e］	41　百万円	41　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	63%	○	63%	○

４か年の評価・検証

○ 森での管理に必要な知識や作業に関する研修を開催し、森づくりボランティアなどの育成を推進しました。

○ 安全に配慮した作業に関する研修を実施し、森づくり活動団体の安全に関する意識の向上を図りました。

○ 森づくり活動の場が年々増加することに加え、既存の団体でも高齢化などにより担い手が不足しているため、新たな人材の育成を進めるとともに、ボランティアと森づくり活動団体との橋渡しを継続的に行っていく必要があります。

○ 今後は情報発信において、SNS の活用など、行政と市民ボランティアの双方向のコミュニケーションがとれるような手法の検討が必要です

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「森づくりリーダー養成講座」	4回	○	
「これも覚えよう！30 種」（スキルアップ講座）	20 回	○	○
「調査・モニタリング研修」（スキルアップ講座）	1回	○	
「作業実習」（スキルアップ講座）	4回	○	
「救急救命講習会」（スキルアップ講座）	2回	○	
「森づくりボランティア基本研修」（必須研修）	2回	○	
「森づくり活動団体基本研修」（必須研修）	6回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	12 回		○
「ロープワーク実習」	2回	○	○
【計】	53 回		

研修参加者の声

- 樹皮だけで樹木を同定できない場合でも、冬芽を参考にすることで樹木判定に生かせそう。（これも覚えよう！30 種）
- 横浜の森を守るためにいかにボランティアの力が大切かわかった。次世代に森を残すために自分も何かしたい。（入門講座）
- ハサミ・ノコギリの使い方、手入れの仕方は大変役に立った。非常に充実した研修会であった。（作業研修）
- ロープワークが大変参考になった。伐倒の際は安全管理を妥協してはいけないということがよくわかった。（作業研修）
- 倒木の際の KY（危険予知）は非常に勉強になった。また、事故事例が多く示され、参考になった。（必須研修）

【写真】
「森づくり活動団体基本研修」の様子
（緑区/新治市民の森）

■ 森づくりボランティアの橋渡し

森づくり活動団体からの要望を受け、団体が主催する行事のご案内を森づくりボランティア登録者へ送付し、団体活動の周知を図りました。（平成 29 年度：3回）

■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニュースレター』を年３回発行しました。

＜支援対象＞(平成 29 年度末時点)

森づくり活動団体等	74 団体
森づくりボランティア	127 人

7 森づくり活動団体への支援

● 市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に、森づくりに必要な道具の貸出しを行います。また、活動に対する助成や、専門家派遣による支援を行います。

４か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		森づくり活動団体への支援	
		（樹林地）	（公園）
	平成 26 年度実績	延べ 22 団体	延べ９団体
	平成 27 年度実績	延べ 23 団体	延べ９団体
	平成 28 年度実績	延べ 34 団体	延べ 10 団体
	平成 29 年度実績	延べ 29 団体	延べ８団体
	４か年累積［a］	延べ 108 団体	延べ 36 団体
５か年目標［b］		延べ 50 団体	延べ 50 団体
４か年計画値［c］		延べ 40 団体	延べ 40 団体

▼目標･計画値に対する進捗率

	森づくり活動団体への支援			
	（樹林地）		（公園）	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	216%	◎	72%	○
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	270%		90%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	３　百万円	３　百万円
平成 27 年度決算額	６　百万円	６　百万円
平成 28 年度決算額	７　百万円	７　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	５　百万円	５　百万円
４か年累積見込額［d］	21　百万円	21　百万円
５か年計画額［e］	28　百万円	28　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	75%	○	75%	○

４か年の評価・検証

○ 森づくり活動を行っている団体に対する道具の貸出しや助成等の支援を通じて、樹林地の効率的・効果的な維持管理を推進しました。

○ 森づくりに関する技術研修の実施を支援したことにより、森づくり活動を担う会員の人材育成につながりました。

○ 専門家の派遣により、生物多様性や安全性に配慮した保全管理作業のアドバイスを、活動団体のニーズに応える形で行うことができました。

○ 今後は、森づくり活動の安全性向上のため、活動団体の安全管理の状況を把握し、より積極的な専門家派遣を行っていくことも必要です。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 道具の貸出し

カマやノコギリといった樹林地を管理するための道具や、救急セットなど安全対策用の道具、腕章や帽子など活動をPRするための道具の貸出しを行いました。

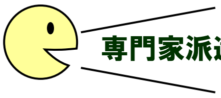
■ 活動に対する助成

森づくり活動の内容や成果、団体の活動記録をまとめ、広く地域の方に配布するための広報誌作成や、森づくり活動を担う会員の森づくりに関する技術研修（動植物の生態情報調査・収集方法の研修）の実施に対して助成を行いました。

■ 専門家の派遣

団体が抱える課題の解決に向け、専門家（アドバイザー）派遣による支援を行いました。

	団体	派遣内容
市民の森等	荒井沢市民の森愛護会	・森づくりボランティアによる谷戸の作業体験・活動支援による橋渡し
	飯島市民の森愛護会	・クヌギ林の枝打ちとそだ柵作り
	今宿市民の森愛護会	・ホタルの生息を目標にした湿地の環境整備 ・樹林地管理作業による環境変化の確認 ・樹林地や湿地の環境変化の確認（観察会）と今後の作業及び役割分担（愛護会と横浜市）の確認
	鍛冶ケ谷市民の森愛護会	・危険斜面地における樹木管理の手法と意義 ・竹林の間伐材を活用した竹柵作り
	綱島市民の森愛護会	・植生調査及び健全な樹林とするための更新計画
	東寺尾ふれあいの樹林愛護会	・森の現状確認と森の魅力を引き出すための課題整理
	市民の森等愛護会、森づくり活動団体	・活動団体による検討会議の開催（橋渡しの課題や今後の方向性について共有）
	ガールスカウト横浜地区スカウトの森	・団体と森づくりボランティアの橋渡し（ロープを使用した伐採や落ち葉かき等を協働で実施） ・森の観察会及びKY（危険予知）活動や草刈実習を通じた安全管理の研修 ・生物多様性の環境整備、管理に伴う発生材の利用
	メゾンふじのき台保存緑地作業部会	・樹林地管理の中長期計画づくり
	境木ふれあいの樹林運営委員会	・ふれあい活動における樹木の観察学習プログラムの作成
	和泉の森を育む会	・森の現状確認と計画づくりのための魅力や課題整理
	殿山の森を守り隊 リコー環境ボランティア	・森の魅力や課題の整理、今後の森づくり作業のや計画づくり
公園	陣ケ下公園愛護会	・植生調査のとりまとめ方法
	茅ケ崎公園愛護会	・生物多様性を向上させる林床育成方法
	本郷ふじやま公園運営委員会公園愛護会	・梅林の樹木せん定の方法 ・梅林の樹木せん定成果の確認および施肥の方法 ・植物別の管理の基礎知識



専門家派遣を受けた森づくり活動団体の声

- 森に関わる団体や行政がそれぞれの役割を整理することができたので、よりよい環境づくりのために愛護会でできる作業を行いたい。
- 樹林地管理の方向性について、活動している森の状況に即した的確なアドバイスをいただくことができた。

【写真】アドバイザー派遣による支援の様子
（磯子区/氷取沢市民の森）

8　森の楽しみづくり

- 森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関わるきっかけとなる親子で参加できるイベントや広報活動を展開します。
- 森を楽しむためのプログラムを自ら企画・運営できる人材を育成するための講座等を開催します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	森に関わるイベント等の実施
平成 26 年度実績	107 回
平成 27 年度実績	132 回
平成 28 年度実績	106 回
平成 29 年度実績	124 回
４か年累積［a］	469 回
５か年目標［b］	180 回
４か年計画値［c］	144 回

▼目標･計画値に対する進捗率

	森に関わるイベント等の実施	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	261%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	326%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	14　百万円	14　百万円
平成 27 年度決算額	17　百万円	17　百万円
平成 28 年度決算額	16　百万円	16　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	17　百万円	17　百万円
４か年累積見込額［d］	64　百万円	64　百万円
５か年計画額［e］	100　百万円	100　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	64%	○	64%	○

４か年の評価・検証

○ ５か年目標を上回る実績を上げることができました。引き続き、横浜の森について、多くの市民に理解してもらうため、取組を広げていきます。

○ 大学や商工会議所等、多様な団体と協力して事業を進めたことで、市民が森に関わるきっかけをより大きな範囲に広げることに貢献するとともに、実施者側にも横浜の森について知っていただくことができました。

○ 森に関わるきっかけとなるイベント等が市民の側からも開催されるよう、インタープリターの養成講座やフォローアップ研修を実施しました。その結果、修了生によるイベントが市内各地で行われました。

○ 今後は、市内で活動しているインタープリターを始めとした、地域で既に活動されている方々とも連携した取組を進めます。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

イベント	回数	参加人数
間伐材を活用したクラフト教室の開催	309 回	29,900 人
親子で参加できる森に親しむイベントの開催	90 回	23,747 人
樹林地を利用したウォーキングイベントの開催	36 回	1,146 人
図書館と連携したイベントの開催	18 回	333 人
森に関わるきっかけづくりパネル展示の実施	16 回	－　人
インタープリター養成講座	全 16 回	41 人が修了
インタープリター養成講座フォローアップ研修	全 12 回	21 人が受講

■　間伐材を活用したクラフト教室の開催

間伐材に触れ、楽しみながら森づくりについて学ぶクラフト教室を市内各所で開催しました。

参加者の声

- 楽しかった。自転車の鍵に付けました。
- 子どもが日ごろの暮らしの中で間伐材を使えるのは、良いなと思いました。

【写真】
・間伐材を利用した昆虫キーホルダー

■　親子で参加できる森に親しむイベントの開催

市内大学と連携した「よこはま森の楽校」など市民を対象としたイベントを開催しました。

参加者の声

- 楽しかったので、帰っても森遊びを楽しみたい。
- 小さな子供でも遊びながら森の大切さ、森にいる生き物など教わることができてよかった。

【写真】「よこはま森の楽校～みんなで探そう創英の森～」の様子（緑区/横浜創英大学）

■　樹林地を利用したウォーキングイベントの開催

参加者の声

- 景色が良く気持ちよく歩けて体が軽くなった。
- 自然観察ができ、植物の名前を教えてもらい、勉強になった。

【写真】「みどりアップ健康ウォーキング」の様子
（南区/こども植物園）

■　図書館と連携したイベントの開催

子どもたちがネイチャーゲームを通して自然や生き物に対する理解を深め、横浜の森について考えることができるイベントを市内５館の図書館と連携して開催しました。

【写真】「森の中のプレイパーク」の様子
（瀬谷区/本郷三丁目公園）

イベント開催区
神奈川区
中区
保土ケ谷区
都筑区
瀬谷区

■　森に関わるきっかけづくりパネル展示の開催

市内図書館等で、二十四節気パネルの展示会を行いました。二十四節気毎に里山での行事等を紹介し、横浜のみどりの魅力を発信しました。

【写真】「二十四節気パネル展示会」の様子
（金沢区/金沢図書館）

■　インタープリター養成講座フォローアップ研修の開催

自然と人とを「仲介」し、その魅力を伝える役割を担う人材であるインタープリターを養成し、身近なフィールドで森を楽しむプログラムを自ら企画、運営できるよう講座を実施しました。

【写真】「インタープリター養成講座フォローアップ研修」の様子
（保土ケ谷区/環境活動支援センター）

９　森に関する情報発信

- 市民の森・ふれあいの樹林のガイドマップを作成し、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを推進します。
- ウェルカムセンター５館を運営し、市民が森について理解を深めるための取組を推進します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	ガイドマップ作成	ウェルカムセンターの運営
平成 26 年度実績	３地域	推進
平成 27 年度実績	２地域	推進
平成 28 年度実績	２地域	推進
平成 29 年度実績	１地域	推進
４か年累積［a］	８地域	推進
５か年目標［b］	推進	推進
４か年計画値［c］	推進	推進

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	40　百万円	3　百万円
平成 27 年度決算額	42　百万円	3　百万円
平成 28 年度決算額	41　百万円	2　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	42　百万円	4　百万円
４か年累積見込額［d］	165　百万円	12　百万円
５か年計画額［e］	230　百万円	30　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	72%	○	40%	△

４か年の評価・検証

○ 新規に指定された市民の森を中心にガイドマップを作成したほか、ウェルカムセンターにおいて森の情報提供や講座の開催を行いました。ウェルカムセンターを紹介するガイドブックを作成するなど広報にも努め、市民が森を訪れ、学ぶ機会を増やすとともに、森の魅力や保全の意義について広く啓発することができました。

○ 健康福祉局が 30 年４月に配信を開始した、よこはまウォーキングポイント歩数計アプリへのガイドマップ情報の掲載に向けた検討を行いました。

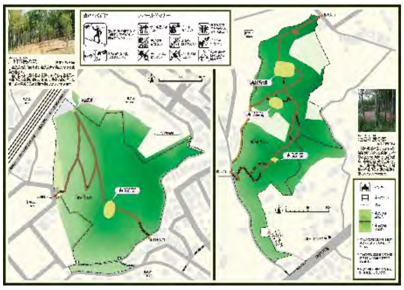
４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■　ガイドマップの作成

ウォーキング等の散策にも活用できるよう、近接する市民の森、ふれあいの樹林を１枚にまとめたガイドマップを作成しました。

パンフレット作成地域	区
鍛冶ケ谷市民の森	栄
南本宿市民の森・市沢ふれあいの樹林・境木ふれあいの樹林	旭、保土ケ谷
今宿市民の森・鶴ケ峰ふれあいの樹林	旭
川和市民の森	都筑
泉の森ふれあい樹林・中田宮の台市民の森、新橋市民の森	泉
柏町市民の森	旭
朝比奈北市民の森・峯市民の森	金沢、磯子
池辺市民の森	都筑



【写真】池辺市民の森
（都筑区）

■　ウェルカムセンターの運営

市内５か所にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行いました。

【写真】森の情報提供
（緑区/新治里山公園にいはる里山交流センター）

【写真】企業の CSR 活動の支援
（栄区/横浜自然観察の森自然観察センター）

イ　市民が身近に農を感じる場をつくる

10　水田の保全

- 横浜に残る貴重な水田景観を保全するため、水稲作付を 10 年間継続することを条件に、土地所有者に奨励金を交付します。
- 水田景観を保全するうえで必要な水源を確保するため、まとまりのある水田がある地区を対象に、井戸の設置を支援します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	水田保全承認面積	水源確保施設整備
平成 26 年度実績	119.7ha	1 か所
平成 27 年度実績	120.1ha	1 か所
平成 28 年度実績	120.8ha	2 か所
平成 29 年度実績	119.8ha	3 か所
４か年累積［a］	119.8ha	7 か所
５か年目標［b］	125ha	10 か所
４か年計画値［c］	123ha	8 か所

▼目標・計画値に対する進捗率

	水田保全承認面積		水源確保施設整備	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	96%	◎	70%	○
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	97%		88%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	49　百万円	35　百万円
平成 27 年度決算額	36　百万円	34　百万円
平成 28 年度決算額	58　百万円	33　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	67　百万円	33　百万円
４か年累積見込額［d］	210　百万円	135　百万円
５か年計画額［e］	343　百万円	183　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	61%	○	74%	○

４か年の評価・検証

○４か年で新規に承認された水田保全面積は、8.5ha となりました。公共事業や耕作者の高齢化等により、４か年で 7.5ha の水田保全が中止されましたが、水田保全承認面積は、水田面積全体の約９割となり、事業がおおむね順調に進みました。

○水田は畑作に比べて収益性が低いことに加え、耕作者の高齢化により水稲作付が困難になっている状況の中で、水田保全承認や水源確保のための井戸設置に対する支援は、水田の継続に対して一定の効果があったと考えられます。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 水田保全承認面積の区別内訳

区名	面積（うち新規）	区名	面積（うち新規）	区名	面積（うち新規）
神奈川	0.1ha	港北	1.1ha	戸塚	9.7ha（0.5ha）
港南	0.7ha（0.1ha）	緑	36.0ha（3.4ha）	栄	2.4ha
保土ケ谷	0.2ha	青葉	37.8ha（2.5ha）	泉	20.9ha（1.2ha）
旭	0.9ha	都筑	5.9ha（0.4ha）	瀬谷	3.9ha（0.4ha）
				計	119.8ha（8.5ha）

※四捨五入の関係により面積の合計は 119.8ha と一致しません。

【写真】夏の水田(都筑区)

【写真】秋の水田(泉区)

■ 水田保全の維持に必要な井戸の掘削とポンプの更新を支援しました。

水稲作付の継続に必要な水を確保するための井戸の掘削とポンプ更新を支援しました。

- 井戸施設設置：１か所（緑区）
- 井戸掘削：１か所（緑区）
- ポンプ更新：５か所（青葉区、緑区）

【写真】地下貯水槽の設置（緑区）

【写真】老朽化したポンプ（左）と
更新したポンプ（右）（緑区）

11 特定農業用施設保全契約の締結

● 市と契約を結び、市長に指定された「農業用施設用地」の固定資産税・都市計画税を 10 年間軽減します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	特定農業用施設保全契約の締結
平成 26 年度実績	12 件（1,348 ㎡）
平成 27 年度実績	14 件（2,065 ㎡）
平成 28 年度実績	14 件（1,640 ㎡）
平成 29 年度実績	８件（1,011 ㎡）
４か年累積［a］	48 件（6,064 ㎡）
５か年目標［b］	制度運用
４か年計画値［c］	制度運用

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	１　百万円	０　百万円
平成 27 年度決算額	１　百万円	０　百万円
平成 28 年度決算額	１　百万円	０　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	１　百万円	０　百万円
４か年累積見込額［d］	３　百万円	０　百万円
５か年計画額［e］	５　百万円	―　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	60%	○	― %	―

４か年の評価・検証

○毎年度平均 12 件程度の契約を結んでおり、概ね計画通りの進捗となりました。
○農家の負担が軽減されることで、農業用施設の維持や改善が図りやすくなり、その農家が耕作する農地を保全することにつながりました。

4か年の総合評価	B

4か年の実績詳細

■ 農業用施設の指定基準

（１）全て農業用に使用されている施設。

（２）施設の一部が農業以外の用途に使用されている場合は、以下の要件を満たす施設。

- 農業専用部分と非農業専用部分が壁などで明確に分かれていること
- 農業専用部分の床面積の合計が延床面積の２分の１以上であること
- 二階建て以上の場合、一階はすべて農業専用であること

【写真】指定された農業用施設（青葉区）

【写真】指定された農業用施設（栄区）

■ 区別指定一覧

区名	件数	指定面積
鶴見	1件	189㎡
神奈川	4件	427㎡
港南	1件	111㎡
保土ケ谷	3件	291㎡
旭	3件	380㎡
港北	1件	39㎡
緑	2件	161㎡

区名	件数	指定面積
青葉	6件	1,020㎡
都筑	1件	23㎡
戸塚	17件	2,425㎡
栄	3件	281㎡
泉	3件	286㎡
瀬谷	3件	431㎡
合　計	48件	6,064㎡

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません。

12　農景観を良好に維持する取組の支援

● 生物多様性の保全に配慮し、周辺環境と調和した良好な農景観を保全・形成するため、地域の農家が組織する団体の維持・管理の取組を支援します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	良好に維持されている農地の面積	田園景観保全水路整備	共同利用設備の整備
平成 26 年度実績	704.3ha	１地区	２件
平成 27 年度実績	718.0ha	２地区	１件
平成 28 年度実績	723.0ha	３地区	２件
平成 29 年度実績	675.0ha	0 地区	９件
４か年累積［a］	675.0ha	６地区	14 件
５か年目標［b］	680ha	５地区	25 件
４か年計画値［c］	723ha	４地区	20 件

▼目標･計画値に対する進捗率

	良好に維持されている農地の面積		田園景観保全水路整備		共同利用設備の整備	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	99%	◎	120%	◎	56%	○
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	93%		150%		70%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	75　百万円	17　百万円
平成 27 年度決算額	96　百万円	17　百万円
平成 28 年度決算額	96　百万円	15　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	107　百万円	21　百万円
４か年累積見込額［d］	373　百万円	70　百万円
５か年計画額［e］	562　百万円	200　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	66%	○	35%	△

４か年の評価・検証

○農地の保全活動に対して支援を行うことで、地域での水路清掃や景観植物の植栽などの維持管理活動が活発になり、まとまりのある農地の環境・農景観が良好に維持されました。

○生物多様性等の環境に配慮した水路整備（田園景観保全水路整備）に対する支援は、水田の水路機能を健全に保つことで、水田の減少を抑制し、農景観の保全に効果があったと考えます。

○地域団体が利用するたい肥化設備などの共同利用設備の整備の支援については、設備導入の条件を見直したことにより活用が増え、せん定枝等のたい肥化が進みました。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 農地とその周辺の農景観保全のための活動を支援しました

まとまりのある農地の維持管理活動を行っている、各地区の農家団体の支援として、農地周辺部の道路・水路の清掃・草刈りや、景観植物の植栽・管理といった取組に対して支援を行いました。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①	農地維持管理団体への支援	52 団体	55 団体	57 団体	54 団体
②	道路・草刈りを行う団体への支援	46 団体	46 団体	51 団体	
③	景観植物の植栽・管理を行う団体への支援	５団体	５団体	５団体	12 団体

【写真】地域団体により保全されている農景観（泉区）

■ 水路機能の維持のための水路改修及び環境に配慮した水路整備を支援しました

老朽化し、機能が低下している水路の改修と併せて、環境に配慮した水路整備について支援を行いました。

【写真】水路整備により保全をはかった水田（左：緑区、右：戸塚区）

■ 共同利用設備の整備

農業活動により生じるせん定枝や作物残さ等を堆肥化してリサイクルに取り組む団体に、必要な機械や設備の購入を支援しました。

区	件数	区	件数
鶴見区	１件	緑区	１件
神奈川区	１件	青葉区	２件
保土ケ谷区	２件	栄区	１件
旭区	１件	泉区	２件
港北区	２件	瀬谷区	１件

【写真】せん定枝チッパー（ＳＳＳ組合/青葉区）

13　多様な主体による農地の利用促進

- 意欲ある農家や新規参入を希望する企業等が農地を安定的に利用できるよう、農地を長期間貸し付ける場合、農地所有者に対し支援します。
- 遊休化した農地を市が一時的に借り受けて復元し、農地の利用を希望する担い手に貸し付けます。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	累計貸付農地（長期貸付開始農地）
平成 26 年度実績	66.4ha（4.1ha）
平成 27 年度実績	77.0ha（10.6ha）
平成 28 年度実績	93.6ha（16.6ha）
平成 29 年度実績	109.9ha（16.3ha）
４か年累積［a］	109.9ha
５か年目標［b］	80ha
４か年計画値［c］	81ha

▼目標･計画値に対する進捗率

	長期貸付開始農地	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	137%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	136%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	23　百万円	23　百万円
平成 27 年度決算額	31　百万円	31　百万円
平成 28 年度決算額	31　百万円	30　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	28　百万円	28　百万円
４か年累積見込額［d］	113　百万円	112　百万円
５か年計画額［e］	177　百万円	177　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	64%	○	63%	○

４か年の評価・検証

○平成 22 年度から運用してきた農地の貸し借りを促進する制度が浸透し、目標を上回る進捗となりました。

○３年間が一般的だった農地の貸借期間が、本事業実施により６年以上の長期の貸借が定着し、意欲のある担い手により農地が安定的に耕作されることで、営農環境が向上するとともに、良好な農景観が保全されました。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

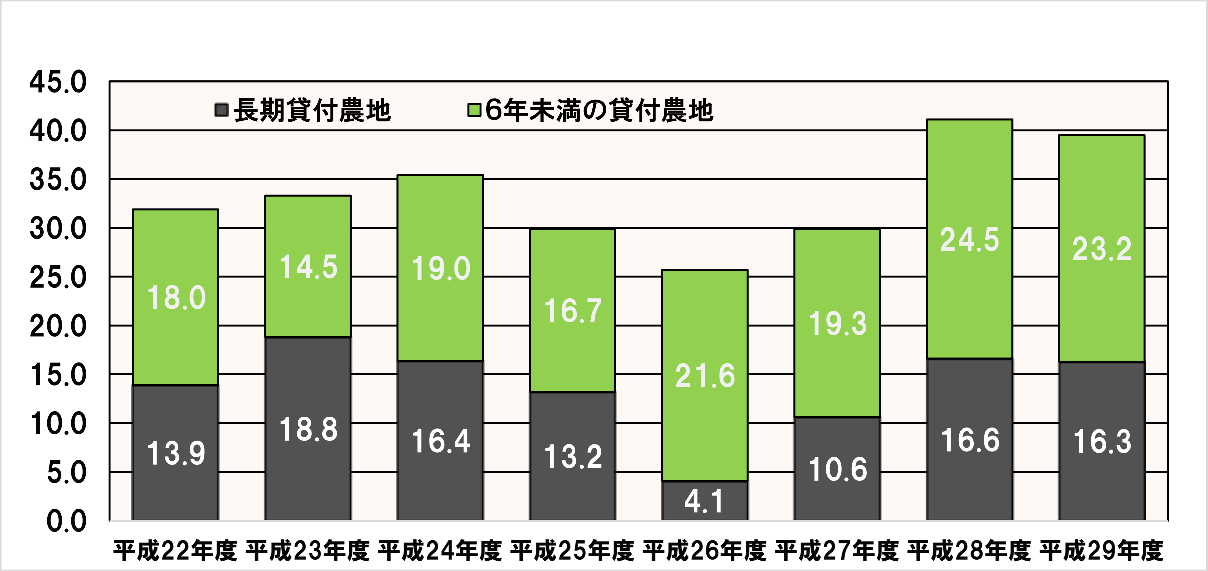
■ 長期間の農地貸付の支援を行いました

農地の遊休化を防ぐためには、安定的な農業経営が必要です。農地を長期間借りられるようになると今後の農業経営の見通しが立てやすくなり、農業経営の安定化に役立つため、市は６年以上の長期貸付を支援しています。

農家が長期間安定して耕作を行うことで、良好な農景観が維持されます。

【写真】長期貸付した農地（青葉区）

【写真】長期貸付した農地（戸塚区）



【図】長期貸付農地面積の推移

利用者の声

・意欲のある農業者の方に長期で借りていただくことができて助かります。

14　様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

● 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設			
	合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
平成 26 年度実績	5.7ha	1.5ha	2.8ha	1.4ha
平成 27 年度実績	4.6ha	1.0ha	2.2ha	1.4ha
平成 28 年度実績	5.6ha	2.5ha	2.1ha	1.0ha
平成 29 年度実績	3.4ha	1.7ha	1.4ha	0.3ha
４か年累積［a］	19.2ha	6.6ha	8.5ha	4.1ha
５か年目標［b］	25.8ha	12.5ha	6.0ha	7.3ha
４か年計画値［c］	（20.6ha）	―	―	―

▼目標･計画値に対する進捗率

	合計		収穫体験農園		市民農園		農園付公園	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	74%	○	53%	○	142%	◎	56%	○
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	93%		―		―		―	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	739　百万円	354　百万円
平成 27 年度決算額	602　百万円	65　百万円
平成 28 年度決算額	695　百万円	227　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	270　百万円	41　百万円
４か年累積見込額［d］	2,306　百万円	688　百万円
５か年計画額［e］	2,514　百万円	1,101　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	92%	◎	62%	○

４か年の評価・検証

○開設支援や整備を行った農園を合計すると、４か年で 19.2ha となり、果物のもぎとりや野菜の栽培など、市民が農を楽しむ場が多く作られました。

○農業経営の取組のひとつとして農園の開設に関心を持つ農家も多く、継続して取り組むことで、市民だけでなく農家のニーズにも応えることが可能です。

○農園付公園は、４か年で整備が完了した８か所のほか、複数か所で事業が進んでいます。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 収穫体験農園の開設支援

ナシ、ブドウなどの果樹園の整備支援を行い、農家が栽培した旬の果物を収穫体験できる農園が増えました。

農園開設整備の支援		
神奈川区	１か所	0.1ha
保土ケ谷区	１か所	0.03ha
旭区	３か所	0.3ha
港北区	３か所	0.3ha
緑区	５か所	0.9ha
青葉区	５か所	0.5ha
都筑区	５か所	0.3ha
戸塚区	６か所	0.6ha
泉区	８か所	0.9ha
瀬谷区	４か所	0.9ha

農園の内訳	
ナシ	14 か所
ブドウ	12 か所
カキ	３か所
ミカン	３か所
イチゴ	３か所
キウイ	３か所
ブルーベリー	５か所
トマト	１か所
イチゴ、トマト	１か所

果樹苗木育成の支援	
13 件	2.59ha

※四捨五入および重複か所があるため、
　内訳と合計は一致しません。

イモ掘取り等の支援	
４件	0.72ha

※市内の収穫体験農園：40 か所
　（平成 30 年３月末時点）

農園開設者の声

・お客様の笑顔を楽しみに、品種等の勉強もしながら、日々、栽培に勤しんでいます。

【写真】開設を支援した収穫体験農園
（イチゴ／保土ケ谷区）

■　市民農園の開設支援

土地所有者が農園を開設するための支援を行い、４か年で 8.5ha の農園が開設されました。

- 特区農園…区画貸しタイプの市民農園
- 環境学習農園…児童・生徒などを対象に農家が指導を行う農園

区	特区農園	環境学習農園	計
鶴見	0.15ha	－	0.15ha
神奈川	0.49ha	－	0.49ha
港南	0.14ha	0.01ha	0.15ha
保土ケ谷	0.34ha	－	0.34ha
旭	0.75ha	－	0.75ha
磯子	0.06ha	－	0.06ha
港北	0.65ha	－	0.65ha
緑	0.52ha	－	0.52ha
青葉	1.65ha	－	1.65ha
都筑	0.74ha	－	0.74ha
戸塚	1.49ha	0.14ha	1.63ha
栄	0.07ha	－	0.07ha
泉	1.32ha	0.07ha	1.39ha

※四捨五入のため、内訳と合計は一致しません

【写真】特区農園（鶴見区）

【写真】特区農園（青葉区）

農園利用者の声

- 農家が野菜、米作りにかける思いがよく伝わりました。
  （環境学習農園を利用している小学校の生徒）
- 家族で利用しており、とてもよい気分転換になっています。
  （特区農園利用者）

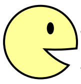
■ 農園付公園の整備

平成 29 年７月に１か所（0.3ha）が開園し、４か年で８か所（4.1ha）の農園付公園の整備を完了しました。

区	公園名	面積
鶴見	東寺尾一丁目ふれあい公園	0.3ha
神奈川	菅田町赤坂公園	0.4ha
保土ケ谷	今井の丘公園（拡張）	0.6ha
港北	師岡町梅の丘公園	1.0ha
都筑	大棚杉の森ふれあい公園	1.0ha
戸塚	ハマヤク農園	0.4ha
泉	泉が丘公園（拡張）	0.1ha
泉	岡津町ふれあい公園	0.3ha

●市内の農園付公園
4.5ha/９か所（平成 30 年３月末時点）
※平成 25 年度開園の南本宿第三公園（0.4ha）を含む

【写真】 岡津町ふれあい公園（泉区）



農園付公園の利用者の声

・利用者同士の情報交換の場や、専門家のアドバイスを受ける機会があり、とても参考になりました。

15 市民が農を楽しみ支援する取組の推進

- 市民と農家を結ぶ交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農と触れ合う機会を提供します。
- 農家と地域住民の協働により、連携して地域の農的環境の保全を図る取組を支援します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	農体験教室などの実施	あぐりツアーの開催	農ある地域づくり協定実施件数	農体験講座
平成 26 年度実績	94 回	３件	－ 件	５回
平成 27 年度実績	89 回	３件	２件	５回
平成 28 年度実績	87 回	４件	１件	５回
平成 29 年度実績	86 回	５件	０件	５回
４か年累積［a］	356 回	15 件	３件	20 回
５か年目標［b］	500 回	20 回	４件	25 回
４か年計画値［c］	400 回	16 回	４件	20 回

▼目標・計画値に対する進捗率

	農体験教室などの実施	あぐりツアーの開催	農ある地域づくり協定実施件数	農体験講座
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	71%　○	75%　○	75%　○	80%　◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	89%	94%	75%	100%

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	11　百万円	0　百万円
平成 27 年度決算額	11　百万円	0　百万円
平成 28 年度決算額	9　百万円	0　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	10　百万円	0　百万円
４か年累積見込額［d］	41　百万円	0　百万円
５か年計画額［e］	62　百万円	0　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	66%	○	－	－

４か年の評価・検証

○事業全体として４か年目標に対して約９割の進捗となっており、概ね順調な進捗でした。

○横浜ふるさと村、恵みの里での体験水田やみそ作り教室、サツマイモ等の収穫体験の取組が継続的に実施され、市民が農と触れ合う機会が増えました。

○農のある地域づくり協定事業は、４か年目標である４件のうち、３件の進捗となりました。

○農体験講座では、小学生とその家族が一緒に農作業を行い、農とふれあう機会を提供しました。農作業の体験だけでなく、収穫物の食べ方を紹介する等、引き続き楽しみながら農業を学ぶ講座の取組を進めます。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 農体験教室などの実施に対して支援しました

横浜ふるさと村や恵みの里において、農家団体が実施した農体験教室等に対して支援しました。

＜横浜ふるさと村、恵みの里の開催実績＞

場所	回数	詳細
舞岡ふるさと村	73 回	トウモロコシ・ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
田奈恵みの里	87 回	体験水田、農産加工教室、サツマイモ掘り等
新治恵みの里	94 回	米・大麦・小麦作り教室、ジャガイモ収穫体験等
都岡地区恵みの里	69 回	もち米、小麦・うどん作り教室、トウモロコシ収穫体験等
柴シーサイド恵みの里	33 回	ミカン狩り、ジャガイモ収穫体験、農業イベント開催等
合計	356 回	

【写真】体験水田
（田奈恵みの里の農業教室
/青葉区田奈町）

【写真】梅もぎ
（舞岡ふるさと村の収穫体験
／戸塚区舞岡町）

【写真】ハクサイの収穫体験
（都岡地区恵みの里の収穫体験
/旭区下川井町）

■　農ある横浜・あぐりツアーを開催しました

　市民に向けて農業専用地区などの市内の農畜産物の生産現場や直売所の見学を行うことで、市内の農業を身近に感じるだけでなく、農業に対する理解も深めていただきました。

＜あぐりツアー開催実績＞

場所	時期	詳細
神奈川区	平成 26 年８月	農業専用地区の見学、浜なし・浜ぶどうの収穫体験
泉区	平成 26 年９月	直売所の見学とサツマイモ掘り
神奈川区、都筑区	平成 27 年２月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
青葉区	平成 27 年９月	寺家ふるさと村の見学、浜なしの話・収穫体験
保土ケ谷区	平成 27 年 11 月	苅部大根の話と収穫体験、直売所見学
都筑区	平成 28 年３月	野菜の栽培施設の見学、イチゴの収穫体験
保土ケ谷区	平成 28 年８月	横浜の農業の話、環境活動支援センター見学、ナシ・ブドウの収穫体験
青葉区、緑区	平成 28 年 10 月	サツマイモ掘り、田奈恵みの里の話、四季菜館見学
保土ケ谷区	平成 28 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苅部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 28 年 12 月	柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド直売所見学
旭区	平成 29 年７月	トマトの収穫体験、直売所見学、トウモロコシの収穫体験、生産緑地と農用地の見学
戸塚区	平成 29 年 10 月	舞岡ふるさと村の見学、直売所見学、サツマイモ掘り
保土ケ谷区	平成 29 年 11 月	西谷農業専用地区の見学、苅部大根の話と収穫体験、直売所見学
金沢区	平成 29 年 12 月	柴漁港の見学、地魚の昼食、柴農業専用地区の見学、ミカン狩り、柴シーサイド恵みの里直売所見学
神奈川区、戸塚区	平成 30 年３月	菅田羽沢農業専用地区の見学、イチゴの収穫体験、牧場見学、市内産イチゴと牛乳のジェラート実食

参加者の声

- 新鮮な野菜を自分で収穫できて楽しかった。
- 横浜にこんなに自然豊かな農地があり驚いた。
- 農家のご苦労がわかった。地元の農産物を購入したい。

【写真】トウモロコシの収穫体験と農家による説明（旭区）

【写真】舞岡ふるさと村で農産物直売所見学（戸塚区）

■ 市民と農家の協働による「農のある地域づくり協定」を締結しました

農家と地域住民が協働で農的環境を維持・保全する活動に対して支援を行いました。

＜４か年の新規協定一覧＞

区・町名	支援内容
神奈川区三枚町	援農、農産加工活動ほか
戸塚区舞岡町	援農、地域交流活動ほか
保土ケ谷区上菅田町・緑区鴨居七丁目	援農、景観保全活動ほか

【写真】ジャガイモの栽培管理（保土ケ谷区上菅田町）

活動に参加した住民の声

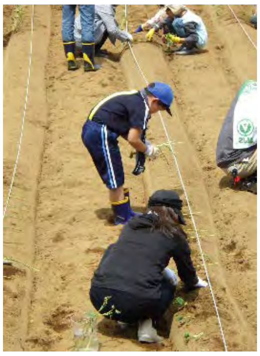
・植え付けから収穫まで一連の農作業を行うことで、農作業の楽しさや大変さを学ぶことができた。

■ 家族で学ぶ農体験講座を開催しました

小学生が家族と一緒に作物の植え付けから収穫までを体験する連続講座を環境活動支援センター（保土ケ谷区）内の畑で開催しました。

参加者の声

・草取りをしたり肥料をやったり、色々な体験ができて、とてもおもしろかった。
・苗の植え付けから収穫まで一連の作業を行って、新たな発見や農家の人の苦労が分かり、とても良かった。



【写真】サツマイモの植え付け

【写真】親子で一緒に一輪車体験

16　地産地消にふれる機会の拡大

- 地域でとれた農畜産物などを販売する直売所の整備等の支援を実施するとともに、市民が楽しみながら農畜産物を購入できる青空市の市民交流イベントの実施を支援します。
- 市内の植木農家や花き農家が生産した苗木や花苗を、市民への配布や、公共施設や農地の縁辺部等への植栽に活用します。
- 地産地消に関する情報誌・パンフレットの発行や、イベントの開催などによる情報発信・PR を実施します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	直売所等の支援	青空市の運営支援	緑化用植物の生産・配布	情報発信・PR 活動
平成 26 年度実績	４件	４件	27,533 本	推進
平成 27 年度実績	11 件	５件	26,108 本	推進
平成 28 年度実績	10 件	５件	26,560 本	推進
平成 29 年度実績	14 件	３件	26,856 本	推進
４か年累積［a］	39 件	17 件	107,057 本	推進
５か年目標［b］	52 件	25 件	125,000 本	推進
４か年計画値［c］	42 件	20 件	100,000 本	推進

▼目標･計画値に対する進捗率

	直売所等の支援		青空市の運営支援		緑化用植物の生産・配布		情報発信・PR 活動
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	75%	○	68%	○	86%	◎	―
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	93%		85%		107%		

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	28　百万円	0　百万円
平成 27 年度決算額	36　百万円	0　百万円
平成 28 年度決算額	34　百万円	0　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	39　百万円	0　百万円
４か年累積見込額［d］	138　百万円	0　百万円
５か年計画額［e］	257　百万円	0　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	54%	○	－	－

４か年の評価・検証

○旭区市沢町の直売所に対する備品購入支援など、39 件の直売所等の支援を通じて、市民が身近な所で市内産農畜産物を購入できる場等を増やしました。また、青空市でのイベントの支援により、農家との交流の機会を提供しました。

○市民配布や公共緑化等を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出しました。

○情報発信・ＰＲ活動については、生産者や事業者の取組やマルシェの情報などを記載した情報誌の発行に加え、新たに、都心臨海部にある地産地消サポート店を掲載したマップを発行する等、工夫を凝らした広報に取り組みました。また、イベントについても、普段“農”に触れる機会の少ない都心臨海部において、生産者、企業とも連携して開催することで、効果的に実施しました。

○市民へのアンケートでも地産地消への関心は高いことから、引き続き、地産地消にふれる機会を拡大する必要があります。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 直売所、加工所の備品購入の支援を行いました

直売所等を支援することによって、市民がより身近に市内産農畜産物を購入できる機会を提供することができました。また、青空市のイベント開催を支援し、市民が農家と交流できる機会を提供することができました。

直売所等の支援	
神奈川区	３件
保土ケ谷区	２件
旭区	５件
港北区	７件
緑区	４件
都筑区	１件
戸塚区	５件
栄区	１件
泉区	10 件
瀬谷区	１件
合計	39 件

【写真】備品購入を支援した直売所
（直売所での焼芋販売/旭区市沢町）

【写真】運営を支援している青空市
（北八朔日曜朝市直売会/緑区）

青空市の運営支援		
西区	４件	みなとみらい農家朝市（高島中央公園）
保土ケ谷区	３件	横浜中部地区市民朝市（保土ケ谷公園ミニ運動場）
緑区	６件	長津田駅前直売所（横浜農協長津田支店前） 北八朔日曜朝市直売会（北八朔上自治会館前広場）
戸塚区	４件	東戸塚市民朝市 （東戸塚駅西口セントラルフィットネスクラブ東戸塚第１駐車場）
合計	17 件	

■ 市内産の苗木・花苗をＰＲしました

市内産の苗木・花苗のイベントでの市民配布や公共緑化、区役所等での展示を通じて、市内産植木や草花に親しめる機会を創出するとともに、多様な横浜の農を PR しました。

【写真】配布した苗木の植樹
（公共空間の緑化/港南区）

【写真】花苗の配布・展示
（ワールドポーターズ/中区）

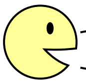
■ 情報発信・ＰＲ

市民が農を身近に感じるための取組として、４か年を通して「はまふぅどナビ」等の情報誌を発行したほか、みなとみらい地区でＰＲイベント「横浜食と農の祭典」を開催するとともに「横浜農業の彩典」に参加しました。平成 29 年に開催した「横浜食と農の祭典 2017」では、「横浜北仲マルシェ」で市内の生産者やはまふぅどコンシェルジュ等による市内産農畜産物や加工品の販売とキッチンカーでの料理提供、「運河パーク」で農機具の展示、「日本丸メモリアルパーク」で市内産の花や植木等を使った「横浜の農」を再現する展示と、３つの会場において一体的に横浜の魅力ある農業と農畜産物を「横浜農場」としてPRしました。

はまふぅどナビ	
第 33 号	横浜の夏　とうもろこし特集
第 34 号	太陽の下でたっぷりの水と栄養を吸って育った里芋特集
第 35 号	横浜農場物語　横浜を彩る花特集
第 36 号	横浜農場発　横浜のたまご特集
第 37 号	とれたてホクホク新じゃが特集
第 38 号	黄金色に輝く田園風景　横浜の米特集
第 39 号	はまふぅど鍋特集　（市内産の野菜を用いた鍋）
第 40 号	畑とつながる横浜生まれのいいもの特集
第 41 号	横浜野菜サラダ図鑑
第 42 号	地産地消マルシェ＆イベント特集
第 43 号	丸ごとシャキッと！横浜キャベツ特集
第 44 号	よこはま花特集
第 45 号	濱のハイカラ農業女子
第 46 号	直売・マルシェ・青空市　特集
第 47 号	ミライの横浜農場

【写真】はまふぅどナビ

【写真】「横浜食と農の祭典 2017」（北仲通北第二公園他/中区）



横浜食と農の祭典 2017
来場者の声

・新鮮な横浜市内産の野菜が買えてうれしい。
・トラクターが大きくて格好いい！

17　地産地消を広げる人材の育成

- 地産地消を広げるはまふぅどコンシェルジュを育成するとともに、活動を支援します。
- 地産地消に関するフォーラムを、市民・企業等と連携して開催します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	はまふぅどコンシェルジュの活動支援	フォーラムの開催
平成 26 年度実績	14 件	1 回
平成 27 年度実績	22 件	1 回
平成 28 年度実績	27 件	1 回
平成 29 年度実績	23 件	1 回
４か年累積［a］	86 件	４回
５か年目標［b］	100 件	５回
４か年計画値［c］	80 件	４回

▼目標・計画値に対する進捗率

	はまふぅどコンシェルジュの活動支援		フォーラムの開催	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	86%	◎	80%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	108%		100%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	2　百万円	0　百万円
平成 27 年度決算額	3　百万円	0　百万円
平成 28 年度決算額	3　百万円	0　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	2　百万円	0　百万円
４か年累積見込額［d］	9　百万円	0　百万円
５か年計画額［e］	22　百万円	0　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	41%	△	―	―

４か年の評価・検証

○ はまふぅどコンシェルジュの育成は着実に進んでおり、市民向けのマルシェ、収穫体験等の活動が活発になっています。コンシェルジュによる自主的な活動の場や機会をさらに充実させるため、引き続き、きめ細やかに育成・支援を進めることが必要です。

○ フォーラムについては、毎年テーマを変えながら開催することで、生産者、事業者、市民の皆様の情報交換や交流の機会が年々拡大しており、地産地消に関わる方々のネットワークの充実が進んでいます。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ **はまふぅどコンシェルジュの活動支援を行いました**

地産地消を広げる人材として、はまふぅどコンシェルジュを育成するとともに、コンシェルジュが開催するマルシェや市民向けバスツアーなどの活動支援を行っています。

４か年で奨励事業 78 件・補助事業８件の計 86 件の活動支援を行いました。

はまふぅどコンシェルジュの活動支援			
【奨励事業】78 件		【補助事業】８件	
マルシェの開催	36 件	講演会の開催と印刷物の発行	１件
農作業体験教室の開催（単日）	19 件	市民向けイベントの開催	７件
農作業体験教室の開催（期間）	16 件		
市民向けバスツアーの開催	７件		

はまふぅどコンシェルジュ育成講座	
第１回	横浜の「農」と地産地消（市の農業の概要と地産地消の取組についての講義）
第２回	横浜の「農」を味わう（中央卸売市場の見学と横浜野菜を使った調理実習等）
第３回	横浜の「農」を体験する（生産者と一緒に収穫や直売の体験）
第４回	横浜の「農」を巡る（市内の生産現場を見学するバスツアー）
第５回	これからの地産地消（今後の活動などを考えるワークショップを実施）

【写真】マルシェ

【写真】農作業体験教室

【写真】バスツアー

■　「食と農のフォーラム」を実施しました

　地産地消に取り組む市民・企業等の交流や情報交換等を行うフォーラムを、市民・企業と連携して開催しました。

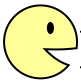
年度	①開催日 ②開催場所 ③来場者数	内容
平成 26 年度	①平成 27 年２月４日 14 時～17 時 ②ﾖｺﾊﾏ創造都市ｾﾝﾀｰ ③約 150 人	●基調講演 「あなたが地域を輝かせる 10 のヒント」 ●トークセッション ●交流会
平成 27 年度	①平成 28 年２月９日 15 時～17 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約８０人	●事例紹介 ・都市型マルシェ”横浜北仲マルシェ”について ・新たな流通システム”SEND”の構築と展開について ・市と連携した農家と飲食店の交流について ●トークセッション ●交流会
平成 28 年度	①平成 29 年２月 14 日 13 時 30 分～16 時 30 分 ②横浜開港記念会館 ③約 30 人	●講義 「横浜の農業・野菜の魅力の伝え方」 ～「神奈川食べる通信」の制作を通じて～ ●グループワーク ●発表・意見交換会
平成 29 年度	①平成 30 年３月 20 日 11 時 00 分～15 時 00 分 ②YCC ﾖｺﾊﾏ創造都市ｾﾝﾀｰ ③約 50 人	●講義 ・地産地消の弁当（商品）開発の事例について　等 ●グループワーク ●発表

【平成 29 年度フォーラムの様子】

【写真】講義

【写真】グループワーク

【写真】発表



フォーラム参加者の声

・それぞれの専門家の方の説明がとてもわかりやすかった。
・他業種/分野の方々と意見交換できたことがとても有意義で、勉強になった。

18 市民や企業等との連携

- 地産地消を広げる「農と企業等との連携」のマッチングを行います。
- 市内の中小企業等を対象とした、地産地消に関するビジネスを創出するための支援を行います。
- 学校給食での市内産農産物の利用促進や食育の推進を図るため、企業等と連携した小学生の料理コンクールやパンフレットの配布などを実施します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	企業等との連携	ビジネス創出支援	学校給食での市内産農産物の利用促進
平成 26 年度実績	５件	推進	推進
平成 27 年度実績	８件	５件	推進
平成 28 年度実績	12 件	５件	推進
平成 29 年度実績	12 件	５件	推進
４か年累積［a］	37 件	15 件	推進
５か年目標［b］	50 件	25 件	推進
４か年計画値［c］	35 件（※）	20 件（※）	推進

▼目標・計画値に対する進捗率

	企業等との連携		ビジネス創出支援		学校給食での市内産農産物の利用促進
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	74%	○	60%	○	―
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	106%		75%		―

※各事業の年度ごとの計画値

	企業等との連携	ビジネス創出支援
平成 26 年度	５件	―
平成 27 年度	５件	５件
平成 28 年度	10 件	７件
平成 29 年度	15 件	８件
平成 30 年度	15 件	５件

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	1　百万円	0　百万円
平成 27 年度決算額	4　百万円	0　百万円
平成 28 年度決算額	11　百万円	0　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	14　百万円	0　百万円
４か年累積見込額［d］	30　百万円	0　百万円
５か年計画額［e］	43　百万円	0　百万円

▼**計画額に対する進捗率**

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	70%	○	―	―

４か年の評価・検証

○地産地消に関する企業からの相談は多く、企業等との連携による、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催などの取組が進みました。

○地産地消ビジネスの創出支援により、新規創業者による市内産農畜産物を使用した加工品（ドレッシング、ブルーベリー葉茶など）が新たに生まれ、マルシェ等で販売されるなど、様々な取組が広がっています。

○小学校給食での市内産農産物（ダイコン、キャベツなど）の一斉供給を行うとともに、小学生が市内産農産物を使用した学校給食のメニューを提案する「はま菜ちゃん料理コンクール」の取組でも年々参加者が増加し、子どもたちに地産地消への関心が広がっています。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 企業等と連携しました

企業と連携し、市内産農畜産物を使用した新商品の開発やマルシェの開催等を行い、市内産農畜産物のＰＲを図りました。

平成 26 年度　連携実績　【連携件数：５件】	
そごう等との連携によるマルシェの開催	４，７、１１月
ヤマザキ製パン㈱との連携による新商品の企画及びＰＲ	10～12 月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
東京ガス㈱との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催	11 月 27 日
ＪＲ東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等	通年

平成 27 年度　連携実績　【連携件数：８件】	
東日本旅客鉄道㈱ 横浜支社との連携による市内産トマトソースを使った新商品の企画・ＰＲ	6～8月
㈱ミツハシとの連携による市内産米の販売	9月
山崎製パン㈱ 横浜第二工場との連携による横濱ビーフを使った新商品の企画・ＰＲ	9～10月
㈱そごう・西武 そごう横浜店との連携による市内産リンゴを使った新商品の企画	9～10月
みなとみらい地区ホテル等との連携による食と農の祭典の開催	11 月
㈱代官山ワークス等との連携による「横浜北仲マルシェ」への市内農家の参加	１～3月
㈱横浜赤レンガとの連携によるイベント「横浜ストロベリーフェスティバル 2016」における市内産イチゴの販売	2月
㈱横浜赤レンガとの連携によるイベント「鍋小屋 2016」における市内産春菊・シイタケの使用	2月

平成 28 年度　連携実績　【連携件数：12 件】	
東日本旅客鉄道㈱横浜支社との連携による横浜線沿線でのマルシェの開催	4月～
㈱ルミネ　ルミネ横浜店との連携によるマルシェの開催	4月～
ベイクォーターにおけるイベントでの市内産農畜産物の販売	5月
横浜農業協同組合との連携による横浜農場のＰＲ	5月
山崎製パン㈱ 横浜第二工場との連携による市内産トマトを使用した新商品の企画・ＰＲ	7～8月
㈱ルミネ　ルミネ横浜店との連携によるイベント「ＦＵＮ！ＮＩＰＰＯＮ ＦＥＳＴＩＶＡＬ」における、飲食店での横浜産野菜を使用した限定メニューの提供	8月
カルビー㈱との連携による市内産農産物を使用した試食品の提供及び直売の実施	9月
オーケー㈱との連携による店舗での市内産農産物の販売	9月～
東京家政学院大学との連携による講義及び朝市へのアンケート調査の実施	10~11 月
市内レストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11 月
ＭＡＲＫ ＩＳみなとみらい・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会の PR（花の展示）	11 月
㈱横浜赤レンガとの連携によるイベント「Yokohama Strawberry Festival 2017」での市内産イチゴの販売・ＰＲ	２月

平成２９年度　連携実績　　【連携件数：12件】	
ＪＲ東日本との連携によるマルシェ開催	4月～
㈱グリーンピースとの連携による市内産トマトが入ったギフトセットの開発・販売	6月～
東京大学での農業経営に関する研究調査の実施	7月～
横浜国立大学での横浜市の地産地消に関する経済循環の研究の実施	8月～
NPO 法人森ノオトと連携した地産地消を次世代に受け継ぐ体験講座の開催	8月～
㈱香炉庵との浜なしを使用した新商品の開発・販売	9月～
東京家政学院大学での講義及び朝市でのアンケート調査の実施	10月～
市内のレストラン・飲食店との連携による地産地消フェアの開催	11月
ＭＡＲＫ ＩＳみなとみらい・横浜ワールドポーターズとの連携による花き展覧会のＰＲ	11~12月
JR 東日本と港北区役所との共催による小机駅イベントでの直売の実施	11月
㈱横浜赤レンガとの連携による「Yokohama Strawberry Festival 2018」における市内産イチゴの販売・PR	2月
JA 横浜•地産地消サポート店との連携による里山ガーデンフェスタでの横浜農場 PR と市内産農産物等の販売	3月

①

②

③

④

【写真】
①香炉庵による新商品（浜なしゼリー）　②里山ガーデンフェスタでの市内産農産物等の販売　③みなとみらいホテルでの地産地消フェアの実施　④Yokohama Strawberry Festival 2018 での横浜産イチゴの販売

■ 地産地消のビジネス創出を支援しました

ビジネスプラン策定を支援する育成講座を開催しました。また、平成 26～28 年度の育成講座を受講し、補助対象に選定された計 15 件の事業化を支援するとともに、平成 30 年度に事業化を支援する７件の事業を新たに選定しました。

＜平成 27 年度の支援対象事業＞

事業名	事業者名	内容
地産地消の店 まごころふぁーむ	横山　宜美	こだわって栽培したトマト「サンロード」を使用したオリジナル商品の開発と販売
旅するコンフィチュール ギフト商品開発	違　克美	市内産農産物等を使用したコンフィチュール（ジャム）のギフト商品開発
オフィスに届ける サラダランチ	有澤　厚子	市内産の野菜を使用したサラダランチを開発しオフィスにお届け
横浜青みかん商品化 プロジェクト	奥井　奈都美	摘果された青みかんを使用したドレッシングの開発と販売
こどもやさい検定 プロジェクト	和賀　康子	親子で実施できるやさい検定の企画と開発

＜平成 28 年度の支援対象事業＞

事業名	事業者名	内容
サッと炊ける フライパンごはん	東　みちよ	市内産の米を使用した、フライパンで調理できるごはんの開発と販売
腹ぺこキッズ プロジェクト	大滝　千香子	市内産食材を使用したスポーツをする子ども向けの高栄養メニューの提案と市内産農畜産物を使用したふりかけの開発
生産物直売所を鶴見に作るプロジェクト	阪田　守昭	新規就農者への販路提供とともに、直売所の少ない鶴見区に新鮮野菜と農体験を提供する場づくり
地産地消・食育ワークショップ&ハンドブック	菅　千明	地産地消の食育ワークショップの企画・運営とそれに連動したハンドブックの制作・販売
横浜野菜たっぷり カレー	中尾　真紀子	市内産の野菜を使用したレトルトカレーの開発と販売

＜平成 29 年度の支援対象事業＞

事業名	事業者名	内容
ブルーベリーの葉を利用した商品の開発	金子　明美	日本初のブルーベリー葉茶作り教室の開催と葉茶関連商品の販売
農家の食卓プロジェクト	小間　一貴	横浜野菜の魅力を伝える、農家の手作り加工品の販売
横浜の農作物とナッツを使用した新たな観光土産の開発	坂本　奈緒子	ナッツと横浜産野菜・果物を使用した新たな横浜土産の開発・販売
生産者と消費者がつながる「まちなかワイナリー」を横浜につくる	町田　佳子	生産者と消費者をつなげる、横浜産の果物を使ったワインづくり
横浜野菜を使った野菜マフィンギフトの開発と販売	水島　綾子	通信販売による横浜野菜を使ったギフト商品の販売

【写真】平成 29 年度の支援対象事業　加工品

＜平成３０年度の支援対象予定事業＞

事業名	事業者名	内容
横浜野菜を活かしたフレークの商品化・販売「はまベジフレーク」	荒木　典子	横浜野菜を使用したフレークの商品化・販売 同商品を利用したレシピ提案・料理教室の開催
収穫マイスター養成事業	河原　真友子	草取り選手権など、一風変わった農業体験の実施 野菜毎の収穫マイスターを養成し、援農の実施
農体験に関する有料のインターネット掲示板の構築	堀尾　保	インターネット掲示板を活用した収穫体験や研修生の募集を検討している生産者の情報の広報の実施
親子☆横浜野菜キッチン	高崎順子	横浜の春夏秋冬の旬な野菜を収録したテキスト作成 テキストの一部を活用した親子食育ワークショップの実施
浜野菜のおじやでビジネスマンの健康を守る！	本橋　ゆり子	不規則な生活を送る方向けに、低カロリーで、横浜産の野菜たっぷりな間食・夜食用おじやの開発・販売
乾燥食材の製造及び販売	土井　和裕	鮮度保持を目的とした、横浜産の乾燥野菜の製造・販売
よこはま野菜（横浜農業）ブランド化プロジェクト	藤原　寿子 三浦　妙子	横浜野菜のブランド化を目的とした、横浜産の飲食物・PRグッズの開発・販売及びマルシェの開催

■　学校給食での市内産農産物の利用を促進しました

　ＪＡ横浜及び市内の農家等と連携し、市内の小学校・特別支援学校に、給食で使用する農産物を届け、子ども達に提供しました。

　また、市内の小学生を対象に、市内産農産物を使用した学校給食のメニューを募集する「はま菜ちゃん料理コンクール」を開催しました。

①市内の小学校・特別支援学校への一斉供給について

年度	供給品目	実施月	実施校数
平成 26 年度	キャベツ	11 月	327 校
平成 27 年度	キャベツ・ダイコン	11 月	329 校
平成 28 年度	米・ダイコン	7月・11 月	332 校・326 校
平成 29 年度	キャベツ	11 月	320 校

②はま菜ちゃん料理コンクールについて

年度	テーマ食材	応募点数
平成 26 年度	キャベツ	1,362 点
平成 27 年度	キャベツ・コマツナ	1,430 点
平成 28 年度	ダイコン・コマツナ	1,595 点
平成 29 年度	キャベツ	1,837 点

【写真】はま菜ちゃん料理コンクール本選

コンクール参加者の声

・１日 30 品目の目標の内、15 品目をとれるようにしました。
・栄養だけでなく、いろどりも良くなるように考えました。
・アレルギーの友だちも食べられるように工夫しました。

ウ　市民が実感できる緑をつくる

19　民有地における緑化の助成

- 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、緑化費用の一部を助成します。（一般助成）
- 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区における公開性や視認性のある緑化に対しては、上限額の引き上げや、維持管理費用の一部などにも助成します。（拡充助成）

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑化の助成
	平成 26 年度実績	５件
	平成 27 年度実績	５件
	平成 28 年度実績	７件
	平成 29 年度実績	３件
	４か年累積［a］	20 件
５か年目標［b］		65 件
４か年計画値［c］		52 件

▼目標・計画値に対する進捗率

	緑化の助成	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	30%	△
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	38%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	2　百万円	0　百万円
	平成 27 年度決算額	2　百万円	1　百万円
	平成 28 年度決算額	2　百万円	0　百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	4　百万円	4　百万円
	４か年累積見込額［d］	10　百万円	5　百万円
５か年計画額［e］		148　百万円	123　百万円

計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	7%	△	4%	△

４か年の評価・検証

○ 全区での助成に加えて、緑の少ない５区では屋上緑化や壁面緑化だけでなく公開性や視認性の高い場所での地面の緑化に助成を拡充するなど、緑化の推進に取り組みました。

○ 助成による緑化面積は着実に増えているものの、助成件数では４か年計画値の４割程度に留まりました。

４か年の総合評価	C

４か年の実績詳細

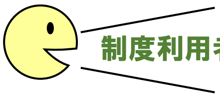
■ 屋上・地面緑化の費用の一部を助成しました

４か年で、個人宅のバルコニーや、集合住宅の屋上や壁面の緑化を、一般助成として 15 件、また拡充助成として公開性のある地面緑化５件、合計 20 件に対して助成を行いました。

＜区別の実績＞

区名	町名	件数
鶴見	北寺尾四丁目 駒岡四丁目 鶴見中央二丁目 東寺尾北台 鶴見中央四丁目 大黒町	６（拡充３）
神奈川	神奈川二丁目 三ツ沢東町	2
西	平沼一丁目 みなとみらい四丁目（2件）	3
中	山手町	１（拡充 1）
南	六ツ川二丁目	１（拡充 1）
港南	上永谷五丁目 港南六丁目	2
保土ケ谷	帷子町	1
磯子	西町	1
緑	鴨居五丁目	1
都筑	早渕二丁目	1
瀬谷	三ツ境	1

【写真】体験型園芸施設周りの芝生等への助成事例（鶴見区大黒町）



制度利用者の声

・助成金を活用したことで、身近な緑を増やすことができました。

20　建築物緑化保全契約の締結

● 緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い保全することに対し、建築物所有者等の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		建築物緑化保全契約
	平成 26 年度実績	５件（約 2.4ha）
	平成 27 年度実績	７件（約 1.4ha）
	平成 28 年度実績	４件（約 5.9ha）
	平成 29 年度実績	０件（約　0ha）
	４か年累積［a］	16 件
５か年目標［b］		制度運用
４か年計画値［c］		制度運用

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	0　百万円	0　百万円
	平成 27 年度決算額	0　百万円	0　百万円
	平成 28 年度決算額	0　百万円	0　百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	0　百万円	0　百万円
	４か年累積見込額［d］	0　百万円	0　百万円
５か年計画額［e］		0　百万円	0　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	—	—	—	—

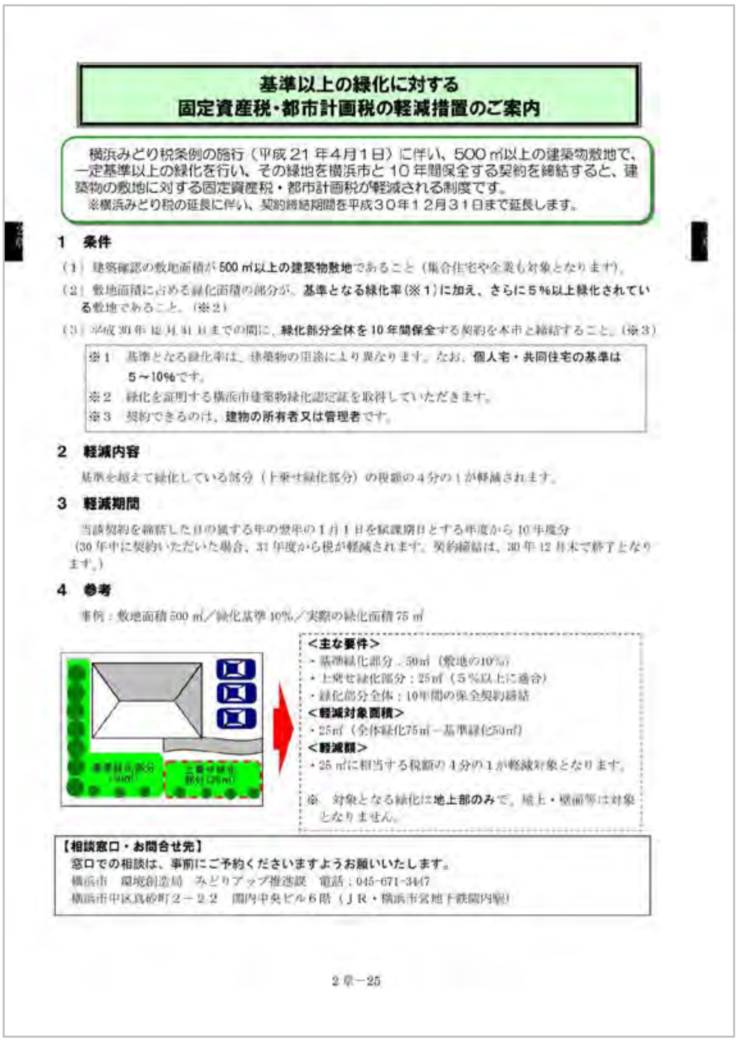
４か年の評価・検証

○ この制度により、民有地で良好な緑地の保全につながっています。

○ 制度を周知する取り組みとして、区役所や財政局の協力により、固定資産税納税通知書発送時の案内チラシの同封や、「税の知識」等への案内記事の掲載がされましたが、平成 29 年度は新たな契約に至りませんでした。

○ 今後も継続的に制度を周知する必要があります。

４か年の総合評価	B



基準以上の緑化に対する
固定資産税・都市計画税の軽減措置のご案内

横浜みどり税条例の施行（平成 21 年４月１日）に伴い、500 ㎡以上の建築物敷地で、一定基準以上の緑化を行い、その緑地を横浜市と 10 年間保全する契約を締結すると、建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税が軽減される制度です。
※横浜みどり税の延長に伴い、契約締結期間を平成３０年１２月３１日まで延長します。

1　条件

（1）建築確認の敷地面積が **500 ㎡以上の建築物敷地**であること（集合住宅や企業も対象となります）。
（2）敷地面積に占める緑化面積の部分が、**基準となる緑化率（※１）に加え、さらに５％以上緑化されている**敷地であること。（※２）
（3）平成 30 年 12 月 31 日までの間に、**緑化部分全体を 10 年間保全**する契約を本市と締結すること。（※３）

※１　基準となる緑化率は、建築物の用途により異なります。なお、**個人宅・共同住宅の基準は５～10%**です。
※２　緑化を証明する横浜市建築物緑化認定証を取得していただきます。
※３　契約できるのは、**建物の所有者又は管理者**です。

2　軽減内容

基準を超えて緑化している部分（上乗せ緑化部分）の税額の４分の１が軽減されます。

3　軽減期間

当該契約を締結した日の属する年の翌年の１月１日を賦課期日とする年度から 10 年度分
（30 年中に契約いただいた場合、31 年度から税が軽減されます。契約締結は、30 年 12 月末で終了となります。）

4　参考

事例：敷地面積 500 ㎡／緑化基準 10%／実際の緑化面積 75 ㎡

<主な要件>
・基準緑化部分：50㎡（敷地の10%）
・上乗せ緑化部分：25㎡（５%以上に適合）
・緑化部分全体：10年間の保全契約締結
<軽減対象面積>
・25㎡（全体緑化75㎡－基準緑化50㎡）
<軽減額>
・25 ㎡に相当する税額の４分の１が軽減対象となります。

※　対象となる緑化は**地上部のみ**で、屋上・壁面等は対象となりません。

【相談窓口・お問合せ先】
窓口での相談は、事前にご予約くださいますようお願いいたします。
横浜市　環境創造局　みどりアップ推進課　電話：045-671-3447
横浜市中区真砂町２－２２　関内中央ビル６階（ＪＲ・横浜市営地下鉄関内駅）

２章－25

「税の知識（財政局発行）」の掲載記事

４か年の実績詳細

■ 保全契約を締結しました

４か年で、個人宅７件、企業１件、集合住宅８件について保全契約を締結し、約 9.7ha の緑地が 10 年間保全されることになりました。

【写真】保全契約の事例（集合住宅）
（戸塚区前田町）

【写真】保全契約の事例（集合住宅）
（旭区左近山）

＜区別の実績＞

区名	町名	件数
神奈川	鶴屋町	1
中	諏訪町	1
南	中里三丁目	1
保土ケ谷	川島町（2 件）	2
旭	左近山（2 件）	2
金沢	並木三丁目	1
緑	三保町	1
都筑	荏田南二丁目	1
戸塚	上倉田町 品濃町（3 件） 前田町	5
瀬谷	相沢一丁目	1

制度利用者の声

- 生活空間の緑が、市の基準以上の緑化をしていると認定されうれしく思います。

21 名木古木の保存

- 地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を保存すべき樹木として指定します。
- 指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

４か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	名木古木の保存	
	新規指定	維持管理の助成
平成 26 年度実績	19 本	51 本
平成 27 年度実績	17 本	47 本
平成 28 年度実績	９本	43 本
平成 29 年度実績	33 本	62 本
４か年累積［a］	78 本	203 本
５か年目標［b］	推進	推進
４か年計画値［c］	推進	推進

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	19　百万円	16　百万円
平成 27 年度決算額	14　百万円	11　百万円
平成 28 年度決算額	11　百万円	9　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	14　百万円	11　百万円
４か年累積見込額［d］	58　百万円	47　百万円
５か年計画額［e］	109　百万円	100　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	53%	○	47%	△

４か年の評価・検証

○ ４か年で新たに 78 本の名木古木を指定したほか、維持管理助成は、平成 25 年度までのみどりアップ計画を上回る、４か年で 203 本に対し助成を行うなど、順調な進捗となりました。

○ また、10 年を目安に行う定期調査では、樹木の専門家である樹木医により名木古木の生育状況を確認するとともに、所有者に対し維持管理に対する適切な助言を行うなど、都市の美観風致の維持に寄与しました。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

名木古木保存事業

樹齢が概ね 100 年を超える樹木や、故事、来歴等のある樹木を名木古木として指定・保存することで、都市の美観風致の維持に寄与しました。

また、名木古木に指定した樹木の診断、治療、せん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減しました。

＜区別の実績＞

区名	新規指定	維持管理に対する助成
鶴見	４本	10 本
神奈川	１本	10 本
西	―	７本
中	15 本	36 本
南	３本	９本
港南	―	11 本
保土ケ谷	６本	５本
旭	―	13 本
磯子	８本	８本
金沢	10 本	19 本
港北	22 本	12 本
緑	―	10 本
青葉	―	11 本
都筑	5本	10 本
戸塚	１本	８本
栄	２本	２本
泉	―	12 本
瀬谷	１本	10 本
【計】	78 本	203 本

＜維持管理の助成の内訳＞

診断	治療	管理
23 本	16 本	164 本

※名木古木の指定本数（平成 30 年３月末時点）
：1003 本

【写真】名木古木指定樹木の事例
（シダレウメ/港北区下田町）

22 人生記念樹の配布

● 人生の節目の記念に、希望した市民に対し苗木を無料配布します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	苗木の配布
平成 26 年度実績	7,752 本
平成 27 年度実績	7,865 本
平成 28 年度実績	7,476 本
平成 29 年度実績	7,343 本
４か年累積［a］	30,436 本
５か年目標［b］	40,000 本
４か年計画値［c］	32,000 本

▼目標・計画値に対する進捗率

	苗木の配布	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	76%	○
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	95%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	11　百万円	3　百万円
平成 27 年度決算額	12　百万円	4　百万円
平成 28 年度決算額	12　百万円	4　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	9　百万円	4　百万円
４か年累積見込額［d］	44　百万円	14　百万円
５か年計画額［e］	50　百万円	22　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	88%	◎	64%	○

４か年の評価・検証

○ 目標本数に近い実績となっており、概ね順調に進捗しました。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ 人生の節目を記念して、苗木をプレゼントしました

民有地緑化の普及・啓発を図るため、人生の節目の記念に、希望した苗木を無料で配布しました。

＜申し込み対象となる記念＞

出生、保育園・幼稚園入園、小学校入学、成人（20 歳の誕生日）、就職、結婚、金婚（50 年）、銀婚（25 年）、賀寿（還暦や古希など７種類）、新市民（市外からの転入）、住宅の新築・購入、住宅の増改築

＜配布実績＞

区名	配布本数	区名	配布本数	区名	配布本数
鶴見	1,545 本	保土ケ谷	1,467 本	青葉	4,063 本
神奈川	1,321 本	旭	2,492 本	都筑	1,950 本
西	744 本	磯子	1,563 本	戸塚	2,936 本
中	692 本	金沢	2,098 本	栄	1,113 本
南	745 本	港北	2,102 本	泉	1,262 本
港南	1,479 本	緑	1,712 本	瀬谷	1,152 本
【合計】30,436 本					

利用者の声　・こどもの小学校入学の記念に申し込みました。こどもの成長とともに苗木の成長が楽しみです。

【写真】苗木配布の様子（西区役所）

【写真】苗木配布の様子（泉区役所）

23　公共施設・公有地での緑の創出・管理

- 各区の主要な公共施設について、緑を充実させる取組を推進します。
  特に、視認性が高く多くの市民が実感できる緑の創出を重点的に実施します。
- 充実を図った公共施設の緑について、良好に維持管理します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	緑の創出	創出した緑の維持管理
平成 26 年度実績	16 か所	95 件
平成 27 年度実績	22 か所	69 件
平成 28 年度実績	18 か所	70 件
平成 29 年度実績	19 か所	77 件
４か年累積［a］	75 か所	311 件
５か年目標［b］	58 か所	推進
４か年計画値［c］	50 か所	推進

▼**目標･計画値に対する進捗率**

	緑の創出		創出した緑の維持管理
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	129%	◎	―
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	150%		

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	213　百万円	0　百万円
平成 27 年度決算額	413　百万円	213　百万円
平成 28 年度決算額	286　百万円	52　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	195　百万円	0　百万円
４か年累積見込額［d］	1,117　百万円	265　百万円
５か年計画額［e］	1,370　百万円	150　百万円

▼**計画額に対する進捗率**

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	82%	◎	177%	◎

４か年の評価・検証

○新総合庁舎整備（南区、金沢区、港南区）に伴う緑化整備をはじめ、各区の地区センター、コミュニティハウス等の公共施設や公有地で緑化に取り組み、計画を上回る進捗となりました。

○各公共施設では、季節感を感じることのできる植栽、花を楽しめる植栽、屋上や壁面の緑化、生物多様性の向上につながる植栽など、多様な緑化により、市民が実感できる緑の創出が進みました。

○引き続き、多くの市民が利用する公共施設から率先して緑化を進めながら、創出した緑を良好に維持管理することが必要です。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 市が所管する公共施設・公有地を緑化しました

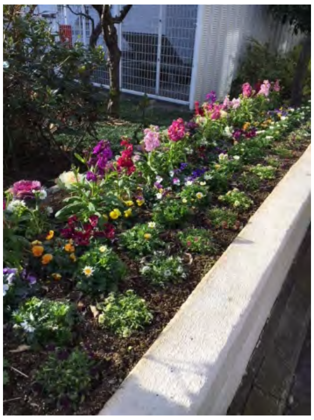
市庁舎（くすのき広場）や鶴見区、西区、保土ケ谷区、南区、金沢区、港南区や栄区の各庁舎など、多くの市民が利用する施設等を新たに緑化しました。

また、「横浜みどりアップ計画」により創出した緑を良好に維持するため、各施設において適切な維持管理が行われました。

＜区別実績（創出）＞

区名	施設名	施設数
鶴見	鶴見区庁舎ほか１か所	2
神奈川	三ツ沢せせらぎ緑道ほか３か所	4
中	市庁舎（くすのき広場）ほか３か所	4
西	西区庁舎ほか 12 か所	13
南	南区庁舎ほか２か所	3
港南	港南区庁舎ほか８か所	9
保土ケ谷	保土ケ谷区庁舎ほか５か所	6
旭	旭区民文化センターほか 11 か所	12
磯子	市道新杉田１１７号線ほか３か所	4
金沢	金沢区庁舎	1
港北	港北スポーツセンターほか３か所	4
緑	森の台１号雨水調整池ほか２か所	3
青葉	青葉区庁舎ほか３か所	4
都筑	横浜国際プール	1
戸塚	宇田川	1
栄	栄区庁舎	1
泉	泉土木事務所	1
瀬谷	相沢川水辺広場ほか１か所	2
	合計	75

【写真】創出・事例
社会教育コーナー（磯子区）



【写真】維持管理・事例
西区庁舎（西区）

24 公有地化によるシンボル的な緑の創出

● 緑の少ない鶴見、神奈川、西、中、南区などを対象に、多くの市民の目に触れる場所で、緑豊かな公園を整備します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		シンボル的な緑の創出
	平成 26 年度実績	１か所
	平成 27 年度実績	１か所 （事業推進　４か所）
	平成 28 年度実績	４か所 （事業推進　４か所）
	平成 29 年度実績	５か所 （緑の創出 １か所、事業推進　４か所）
	４か年累積［a］	５か所
５か年目標［b］		５か所
４か年計画値［c］		５か所

▼目標･計画値に対する進捗率

	シンボル的な緑の創出	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	100%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	100%	

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	301　百万円	21　百万円
	平成 27 年度決算額	1　百万円	1　百万円
	平成 28 年度決算額	445　百万円	38　百万円
	平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	432　百万円	70　百万円
	４か年累積見込額［d］	1,179　百万円	130　百万円
５か年計画額［e］		1,650　百万円	324　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	71%	○	40%	△

４か年の評価・検証

○ 平成 30 年４月１日に、鶴見区の 下野谷町（したのやちょう） 三丁目公園が開園し、緑の少ない区において緑を創出することができました。

○ 平成 30 年度中には西区、港南区の公園が完成する予定となっており、その他の候補地でも引き続き事業を進めていくことが必要です。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ **鶴見工業高校跡地の一角に「下野谷町三丁目公園」が開園**

平成 30 年４月１日、JR 鶴見線「鶴見小野」駅そばの鶴見工業高校跡地の一角に「下野谷町三丁目公園」が開園しました。

園内には、様々な地域活動に利用できる広場や、防災に資する施設を設置したほか、緑の少ない鶴見区において緑豊かな公園を目指し、区の木であるサルスベリをはじめ、四季を通じて花と緑を楽しめる樹木や草花を、数多く植栽しました。

【写真】 下野谷町三丁目公園（鶴見区）

区	事業予定地	面積	29 年度実績
鶴見区	下野谷町三丁目公園 （鶴見工業高校跡地）	2,828m^2	完成
西区	伊勢町三丁目 （県職員宿舎跡地）	約 4,000m^2	工事中 （30 年度中完成予定）
中区	山手町 （国家公務員宿舎跡地）	約 2,600m^2	一部用地取得 （32 年度以降完成予定）
神奈川区	六角橋四丁目 （国家公務員宿舎跡地）	約 1,600m^2	設計中 （32 年度以降完成予定）
港南区	最戸一丁目 （南土木事務所作業場跡地）	約 1,300m^2	設計中 （30 年度中完成予定）

25　いきいきとした街路樹づくり

- 市民が目にする機会が多く、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成するため、せん定などの維持管理を通常の維持管理に上乗せして実施します。
- 都心臨海部の街路樹や区の代表的な街路樹については、低木の刈込や除草などの管理をより充実させせます。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	街路樹の計画的なせん定
平成 26 年度実績	18 区で推進（160 路線）
平成 27 年度実績	18 区で推進（206 路線）
平成 28 年度実績	18 区で推進（325 路線）
平成 29 年度実績	18 区で推進（559 路線）
４か年累積［a］	18 区で推進
５か年目標［b］	18 区で推進
４か年計画値［c］	18 区で推進

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	262　百万円	262　百万円
平成 27 年度決算額	277　百万円	277　百万円
平成 28 年度決算額	277　百万円	277　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	272　百万円	272　百万円
４か年累積見込額［d］	1,088　百万円	1,088　百万円
５か年計画額［e］	1,445　百万円	1,445　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	75%	○	75%	○

４か年の評価・検証

○ 市民の目にする機会が多い駅前広場や公共施設周辺、幹線道路などの街路樹のせん定を、目標とする樹形や切り方に配慮して行ったことで、良好に育成されました。
○ 26 年度から、都心臨海部や区の代表的な街路樹について低木の刈込や草刈等の頻度をあげて維持管理し、緑豊かな街の景観を維持しました。
○ 老朽化している街路樹や空桝も見られ、街並みの美観向上に向けて再生の検討も必要です。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ **せん定などの維持管理を実施しました。**

街路樹を良好に育成するため、管理樹形図を作成し、樹種や路線の特性を考慮しながら、目標とする樹形とせん定方法をあらかじめ定め、計画的なせん定を実施しました。また、都心臨海部や各区の代表的な街路樹の植樹桝については、低木刈込、草刈や除草などの頻度をあげて行うことにより、より充実した管理を行いました。

【写真】（左：栄本町線　クスノキ、ツツジ（西区））（右：桜木町駅前広場　ケヤキ（中区））

26　地域緑のまちづくり

● 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	地域緑化推進事業
平成 26 年度実績	22 地区（うち新規：6 地区）
平成 27 年度実績	26 地区（うち新規：4 地区）
平成 28 年度実績	29 地区（うち新規：9 地区）
平成 29 年度実績	25 地区（うち新規：7 地区）
４か年累積［a］	42 地区
５か年目標［b］	46 地区
４か年計画値［c］	39 地区

▼目標･計画値に対する進捗率

	地域緑化推進事業	
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	91%	◎
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	108%	

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	196　百万円	196　百万円
平成 27 年度決算額	151　百万円	151　百万円
平成 28 年度決算額	165　百万円	165　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年 4 月 30 日時点の数値	180　百万円	180　百万円
４か年累積見込額［d］	692　百万円	692　百万円
５か年計画額［e］	931　百万円	931　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	74%	○	74%	○

４か年の評価・検証

○ 事業広報、事業説明会や専門家による提案計画づくりの支援等により、多くの提案応募がありました。短い期間での提案計画づくりですが、提案団体の皆さまの熱意と、充実した支援等により、目標を上回る地区と協定を締結することができました。

○ 協定を締結したすべての地区で、緑化計画書に基づいた緑化や活動が行われました。また、緑のまちづくりをきっかけに、居住環境がよくなるだけでなく、地域のコミュニケーションがとても増え、地域コミュニティが醸成されています。

○ 市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流を目的とした活動報告＆交流会を開催しました。今後も、継続した活動につながる計画づくりを進めていく必要があります。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 新たに２６地区と協定を締結しました

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、４か年で２６地区の団体と新たに協定を締結しました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

＜４か年の取組地区一覧＞

＜継続地区＞

地区名	区名	協定締結年度
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
生麦・新子安地区	鶴見 神奈川	H24
みなとみらい21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい21 新港地区	中	H25
牛久保西地区	都筑	H25
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
合計	16 地区	

＜新規地区＞

地区名	区名	協定締結年度
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すずらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
東本郷地区	緑	H27
霧の里地区	緑	H27
初黄・日ノ出町地区	中	H27
上星川地区	保土ケ谷	H27
菅田地区	神奈川	H28
鴨居・白山一丁目地区	緑	H28
大倉山つつみ通り地区	港北	H28
関内地区	中	H28
東山田四丁目地区	都筑	H28
石川町地区	中	H28
三保町宮根地区	緑	H28
日本大通り地区	中	H28
江田駅周辺地区	青葉	H28
中之丸地区	港南	H29
日野団地地区	港南	H29
汐見台２丁目地区	磯子	H29
磯子・岡村地区	磯子	H29
前田町桜の丘地区	戸塚	H29
武蔵中山台地区	緑	H29
霧が丘六丁目地区	緑	H29
合計	26 地区	

＜平成２９年度取組状況＞

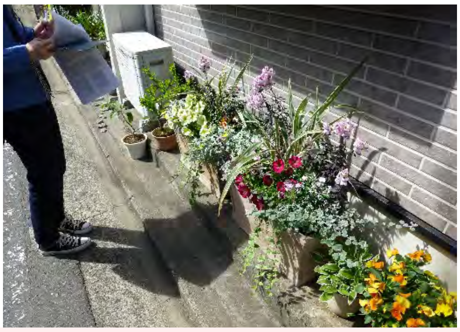
各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

地域のメイン道路を中心に宿根草や花による緑化をテーマにした地区では、道路を利用する方々から、「とてもきれいな花が季節ごとに楽しめて、とても素敵な地域になった。」「以前はポイ捨てが多かったが、この活動のおかげでゴミがなくなった。」などの声をいただいています。

また、地域緑のまちづくり推進団体の交流の場として、全地区の推進団体と地域緑のまちづくりに興味のある方を対象に、活動報告＆交流会を実施しました。29 年度の交流会は、「活動の連携と継続」をテーマに、集まった皆さまで熱心な意見交換などを行いました。

【写真】沿道の緑化
（石川町地区/中区）

【写真】花壇の植替えの様子
（みなとみらい２１新港地区/中区）

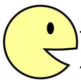


【写真】個人宅前の沿道の緑化
（大倉山つつみ通り地区/港北区）

【写真】集会所前の緑化
（東本郷地区/緑区）

【写真】中学校での植付けの様子
（湘南桂台地区/栄区）

【写真】活動報告＆交流会の様子
（情報交換や地区同士の交流の場）



活動団体の声

・地域緑のまちづくりに取り組んで、まちに緑と花が増えたことで、地域のコミュニケーションが良くなったことを実感しています。今では、家族総出で活動に参加しています。

27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	緑の創出	芝生等の維持管理
平成 26 年度実績	50 か所	推進
平成 27 年度実績	32 か所	推進
平成 28 年度実績	36 か所	推進
平成 29 年度実績	34 か所	推進
４か年累積［a］	152 か所	推進
５か年目標［b］	100 か所	推進
４か年計画値［c］	80 か所	推進

▼目標・計画値に対する進捗率

	緑の創出		芝生等の維持管理
５か年目標に対する進捗率［a／b×100］	152%	◎	―
４か年計画値に対する進捗率［a／c×100］	190%		―

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	70　百万円	10　百万円
平成 27 年度決算額	64　百万円	9　百万円
平成 28 年度決算額	57　百万円	11　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	60　百万円	4　百万円
４か年累積見込額［d］	251　百万円	34　百万円
５か年計画額［e］	463　百万円	75　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率（見込）［d／e×100］	54%	○	45%	△

４か年の評価・検証

○園庭や校庭の芝生化のみならず、ビオトープや樹木による緑化等に対しても支援するよう事業内容を拡充した結果、多様な緑を創出することにつながりました。

○子どもたちが日常的に利用している創出した芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくことが課題です。なかでも施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援を行っていく必要があります。

４か年の総合評価	B

４か年の実績詳細

■ **緑の創出**

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・保育園	民間保育所・幼稚園	区名	市立小学校・保育園	民間保育所・幼稚園
鶴見	12 か所	4 か所	金沢	2 か所	1 か所
神奈川	10 か所	3 か所	港北	2 か所	5 か所
西	3か所	—	緑	4 か所	3 か所
中	4か所	3 か所	青葉	9か所	3 か所
南	15 か所	1 か所	都筑	7か所	3 か所
港南	6か所	1 か所	戸塚	6か所	3か所
保土ケ谷	8か所	2 か所	栄	10 か所	1 か所
旭	3か所	3か所	泉	5か所	—
磯子	5か所	1 か所	瀬谷	4 か所	—
			【計】	115 か所	37 か所

＜実施内容ごとの内訳＞

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
46 か所	49 か所	45 か所	32 か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

■ 芝生等の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するのと合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。また、ビオトープの整備や維持管理について、専門家による訪問指導を実施しました。

- 費用の一部を支援した箇所数：のべ 400 か所以上
- 芝生の維持管理について　研修会：11 回　専門家による訪問指導：132 回
- ビオトープの専門家による訪問指導：48 回

【写真】〔整備〕樹木による緑化
（三ツ境たんぽぽ保育園／旭区）

【写真】〔整備〕園庭の芝生化
（三春台保育園／南区）

【写真】〔管理〕芝生維持管理者向けの研修会
（山下公園／中区）

【写真】ビオトープ整備計画作りの訪問指導
（和泉小学校／泉区）

利用者の声

- 芝生の維持管理方法についてとても参考になりました。
- ビオトープを通じて、生き物や生態系について学ぶことができました。

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。

４か年の事業実績

※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
平成 26 年度実績	６か所	３か所
平成 27 年度実績	４か所	４か所
平成 28 年度実績	12 か所	８か所
平成 29 年度実績	１か所	13 か所
４か年累積［a］	23 か所	28 か所
５か年目標［b］	推進	推進
４か年計画値［c］	推進	推進

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	173　百万円	146　百万円
平成 27 年度決算額	519　百万円	143　百万円
平成 28 年度決算額	513　百万円	483　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 30 年４月 30 日時点の数値	279　百万円	251　百万円
４か年累積見込額［d］	1,484　百万円	1,023　百万円
５か年計画額［e］	1,620　百万円	1,470　百万円

▼計画額に対する進捗率

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	92%	◎	70%	○

４か年の評価・検証

○都市公園や港湾緑地、街路樹などの緑のネットワークにより街の回遊性が高まり、季節の花が街を華やかに彩りました。

○山下公園や港の見える丘公園、新港中央広場などでは、バラ園や美しい花壇が全国都市緑化フェアの会場としても活用され、市民や観光客の目を楽しませました。

○都心臨海部は、多くの市民や観光客が訪れる横浜の顔であり、引き続き質の高い維持管理を進めながら、緑や花によりエリア全体の魅力を高めていくことが重要です。

４か年の総合評価	A

４か年の実績詳細

■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりと維持管理を進めました

４か年でみなとみらい 21 地区から山下地区を中心としたのべ 23 か所で、緑や花による整備を進めました。また、山下公園や港の見える丘公園などのべ 28 か所で、バラ園や花壇等の維持管理を進めました。

実施か所	区名	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
アメリカ山公園	中区	実施	－
山下公園	中区	実施	実施
港の見える丘公園	中区	実施	実施
横浜公園	中区	実施	実施
元町公園（西洋館含む）	中区	実施	実施
山手イタリア山庭園（西洋館含む）	中区	実施	実施
グランモール公園	西区	－	実施
日本大通り	中区	実施	実施
山下公園通り	中区	－	実施
桜木町駅前西口広場	中区	実施	－
東横線跡地（桜木町駅前）	中区	実施	－
新港中央広場	中区	実施	実施
象の鼻パーク	中区	実施	実施
赤レンガパーク	中区	実施	実施
カップヌードルミュージアムパーク	中区	実施	実施
汽車道	中区	実施	実施
日本丸メモリアルパーク	西区	実施	－

【写真】山手イタリア山庭園の緑花整備（中区）

【写真】新港中央広場の維持管理（中区）

【写真】山下公園の維持管理（中区）

エ　効果的な広報の展開

29 市民の理解を広げる広報の展開

- 市民の皆さまのご理解とご協力を得ながら「横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）」を推進するため、様々な媒体を活用しながら、計画や取組実績の広報・PR を進めます。計画を所管する環境創造局と「横浜みどり税」を所管する財政局が連携し、財源（税）と使途（事業）の両面から市民に周知します。
- 「みどりアップ月間」を設定し、集中的な広報を実施します。
- これまでに実施した広報手法について検証し、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を実施します。

４か年の事業実績　※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

	計画の周知や実績報告
平成 26 年度実績	推進
平成 27 年度実績	推進
平成 28 年度実績	推進
平成 29 年度実績	推進
４か年累積［a］	推進
５か年目標［b］	推進
４か年計画値［c］	推進

＜事業費の執行状況＞

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	16　百万円	0　百万円
平成 27 年度決算額	17　百万円	0　百万円
平成 28 年度決算額	16　百万円	0　百万円
平成 29 年度決算見込額 ※平成 29 年４月 30 日時点の数値	15　百万円	0　百万円
４か年累積見込額［d］	63　百万円	0　百万円
５か年計画額［e］	80　百万円	0　百万円

	事業費		うち横浜みどり税	
５か年計画額に対する執行率 （見込）［d／e×100］	79%	◎	―	―

４か年の評価・検証

○ 広報よこはまへの記事掲載、実績概要リーフレットの自治会・町内会への回覧など、広報効果の高い取組を毎年度実施し、取組及び事業実績の周知を着実に進めました。

○ 財政局及び各区役所と連携し、市連会・区連会での実績説明、区民まつりでのブース出展を行い、横浜みどり税及びみどりアップ計画の周知を進めました。

○ マスコットキャラクターをイベントで活用したほか、広報紙や交通広告でもキャラクターのイラストを生かした親しみやすいデザインづくりを進めました。またプロモーションビデオ、アニメーションを制作し、視覚的に横浜の緑の魅力やみどりアップ計画の取組を感じて頂けるよう、映像を用いた PR を実施しました。

○ 平成 26 年度から実施している調査では、計画を知っていると答えた割合が 41 から 42%で推移していましたが、29 年度の調査では計画を知っていると答えた割合が４８%となり増加しました。また、計画を知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いていますが、若年層で知っていると答えた割合は着実に増加してきています。今後は、引き続き効果の高い「広報よこはま等の広報紙」・「自治会・町内会の回覧」等での情報提供を行うとともにキャラクターや映像を用いるなど手法・媒体を工夫し、若年層向けにも積極的に広報していきます。

４か年の総合評価	B

平成 29 年度の実績

■ イベントなどによる広報

＜イベント出展による PR 活動＞

・全国都市緑化よこはまフェアでの PR（平成 29 年３月 24 日から６月４日）
・よこはま花と緑のスプリングフェア 2017（平成 29 年４月７日～４月９日）
・子どもアドベンチャー2017（平成 29 年８月 17 日~8 月 18 日）
・里山ガーデン秋の大花壇公開（平成 29 年9月 22 日～10 月 22 日）
・はまりんフェスタ（平成 29 年 10 月 28 日）
・みどりアップ月間 2017 期間中の各種イベント（平成２９年 10 月～11 月に多数開催）
・野毛山動物園　第 12 回 動物たちの SOS 展（平成 29 年３月４日～３月５日）
・金沢動物園春まつり（平成 29 年３月 18 日～３月 20 日）　など

【写真】全国都市緑化よこはまフェア（みなとガーデン）

【写真】よこはま花と緑のスプリングフェア 2017

【写真】はまりんフェスタ

＜展示によるPR活動＞

・市庁舎市民広間での展示　　・図書館での企画展示

【図】広報よこはま
（市版：平成29年９月号）

■　区役所、他局と連携した横浜みどり税の広報

・市連会・区連会での実績説明（環境創造局、各区税務課）
・イベントへの共同出展（環境創造局、財政局税務課）
・横浜みどり税PRチラシの配布（財政局税務課）
・個人市民税納税通知書、税額決定通知書に案内掲載（財政局税務課）
・法人市民税申告書送付時にチラシ同封（財政局税務課）
・各区区民祭りでのブース出展（各区税務課）

■　各種媒体を活用した広報

＜広報誌等への掲載＞

・広報よこはま
（市版特集ページ：　９月号）
（区版：栄区版８月号、戸塚区版８月号・９月号、港北区版９月号、
　　　　緑区版４～９月号（連載コラム）　）
・季刊誌「みどり」（平成29年夏号、秋号）
・かんきょう横浜
　（平成29年７月号、９月号、平成30年３月号）
・よこはま農委だより（平成29年11月号）

【図】平成28年度の実績概要リーフレット

＜リーフレット・チラシ・報告書＞

・平成28年度の実績概要リーフレットの自治会等での回覧
・平成28年度事業報告書

＜メディアを活用した広報＞

・横断幕の掲出
　動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等に掲出
・市営バス、公用車等へのPR用マグネットシートの貼付掲出（約4,000枚配布）
　（平成24年11月～）
・横浜みどりアップ計画メールマガジンの発行（毎月１日に発行）
・日産スタジアムでの広告設置
・PRTIMES（プレスリリース配信サービス）を活用したイベント周知
・ツイッターを活用した広報

＜事業実施場所でのPR＞

・事業実施場所での現地表示

【図】実施場所での現地表示

■ マスコットキャラクターを活用した広報

市民の皆様に、より横浜みどりアップに親しんでいただくため、平成 27 年度に作成したマスコットキャラクター「横浜みどりアップ葉っぴー」について、各イベントで活用し、より幅広い層に横浜みどりアップ計画を PR しました。また、リーフレットやみどりアップ月間・交通広告のポスター等にキャラクターのイラストを使用し、より市民の目に留まる工夫をしました。

【写真】イベントでの PR

【写真】公共施設での PR

【写真】キャラクターを活用した交通広告

■ 映像を活用した PR

＜プロモーションビデオの活用＞

・プロモーションビデオの放映

視覚的にみどりアップ計画をアピールするため、イベント等でプロモーションビデオを放映しました。

【図】プロモーションビデオ

・CM 用プロモーション動画の制作

新たに 15 秒、30 秒の CM 用プロモーション動画を作成し、区役所、デジタルサイネージや横浜市営地下鉄ブルーライン等の車内ビジョンで放映しました。

・QR コードを活用した取組

リーフレットや広報紙に QR コードを記載し、Youtube でプロモーションビデオをご覧いただけるよう工夫しました。

＜ハンド・メイドアニメーション・グランプリを通じた PR＞

・横浜賞の募集

若手アニメーション作家の育成・支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト「ハンドメイド・アニメーション・グランプリ（HAG)」に横浜賞環境創造部門を設け、「横浜みどりアップ」をテーマに作品案を募集しました。

・アニメーションの活用

アニメーションは、首都圏 26 館のイオンシネマで放映された他、桜木町駅の観光案内所等のデジタルサイネージも活用しました。また、Youtube でも公開しています。

【図】横浜みどりアップのアニメーション

・アニメーションデザインを用いた広報

アニメーションのデザインを活用し、PR 用のクリアファイル、イベントのチラシを作成しました。複数の媒体でデザインを活用し、アニメーションとの相乗効果を意識した PR を実施しました。

■みどりアップ月間

横浜みどりアップ計画と横浜みどり税に対する市民・法人へのPRを推進するとともに、緑の保全・創造に対する市民協働の輪を拡げながら、活動団体、土地所有者等を含めた市民共通理解の促進を図ることを目的として、みどりアップ月間を設置しています。

＜概要＞

【期　間】　毎年10月～11月

【主な内容】

- 集中的な広報によるPRの強化
  鉄道・バスなどの交通広告、苗木配布、クラフト教室、
  ポスター掲示、市民広間での企画展示、
  各種パンフレット・チラシの発行など
- みどりアップ月間のコアイベントの実施
  農と緑のふれあい祭り
- イベントによるPR
  よこはま森の楽校、よこはま食と農の祭典2017等

【図】みどりアップ月間ポスター

＜主なイベント実績＞

日付	イベント名	内容	開催場所
9月22日（金）～10月22日（日）	里山ガーデン秋の大花壇	里山ガーデンの大花壇の公開にあわせて、パネル展示やワークショップの開催	里山ガーデン
10月21日（土）	みどりアップ健康ウォーキング in 泉区	植物などの自然観察をしながら、市内の豊かな自然を楽しむウォーキング	下飯田駅（スタート）～俣野別邸庭園（ゴール）
11月23日（木・祝）	みどりアップ健康ウォーキング in 瀬谷区		瀬谷駅（スタート）～三ツ境駅（ゴール）
11月3日（金・祝）	馬車道まつり 木のマイスプーンづくり教室	間伐材でマイスプーンづくり。	馬車道商店街
11月3日（金・祝）	農と緑のふれあい祭り	野菜の収穫体験や農畜産物の販売、自然素材を利用した工作教室などを実施。	環境活動支援センター、横浜市児童遊園地、こども植物園
11月18日（土）・19日（日）	よこはま食と農の祭典2017	新鮮でおいしい横浜野菜や加工品の販売、市内産の花や植木の展示などを実施	北仲通北第二公園　他
11月19日（日）	よこはま森の楽校 ～みんなでふれあおう 横濱のもい～	大学生が主体となって企画し、森の恵みを生かしたクラフトづくりやワークショップを開催	クイーンズサークル
10月1日（日）～11月30日（木）	ウェルカムセンター５館回遊スタンプラリー	市内５か所のウェルカムセンターで、10～11月のみどりアップ月間に合わせてスタンプラリーを開催	・寺家ふるさと村四季の家 ・新治里山公園 にいはる里山交流センター ・環境活動支援センター ・舞岡ふるさと村　虹の家 ・横浜自然観察の森 自然観察センター

【写真】農と緑のふれあい祭り

【写真】里山ガーデン秋の大花壇

【写真】よこはま森の学校

■ 交通広告を活用した広報

特に若年層を中心により幅広い層に取組をPRするため、みどりアップ月間に合わせ９月～11月にかけて集中的に交通広告を活用した広報を実施しました。

＜掲出実績＞

市営地下鉄

・ブルーライン・グリーンラインアドトレイン貸切車内ポスター
（平成29年10月17日～10月30日）
・ブルーライン横浜駅・戸塚駅ホームドア（平成29年10月18日～10月31日）
・ブルーラインLED広告（平成29年10月10日～11月30日）
・ブルーライン　ブルービジョン及びグリーンライン　グリーンビジョン映像放映
（平成29年10月10日～11月30日）

市営バス

・バス車内ポスター(窓上広告・全車)（平成29年10月10日～11月30日）

相模鉄道

・中吊りポスター（平成29年10月8日～10月25日）
・駅貼りポスター（平成29年10月8日～10月25日）

京浜急行線

・窓上ポスター（平成29年11月1日～11月30日）

みなとみらい線

・駅貼りポスター（平成29年10月16日～11月19日）

シーサイドライン

・駅貼りポスター（平成29年10月23日～11月17日）

【写真】市営地下鉄車内ビジョン

【写真】はまりん号貸切
車内ポスター

【写真】ホームドア広告（横浜駅）

■ **『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』の実施**

実施した広報手法の検証、より効果的に広報を展開していくため、『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』を毎年実施しています。29 年度は、「横浜の緑に関する市民意識調査」の中で計画や税の認知度、広報手法について調査を実施しました。

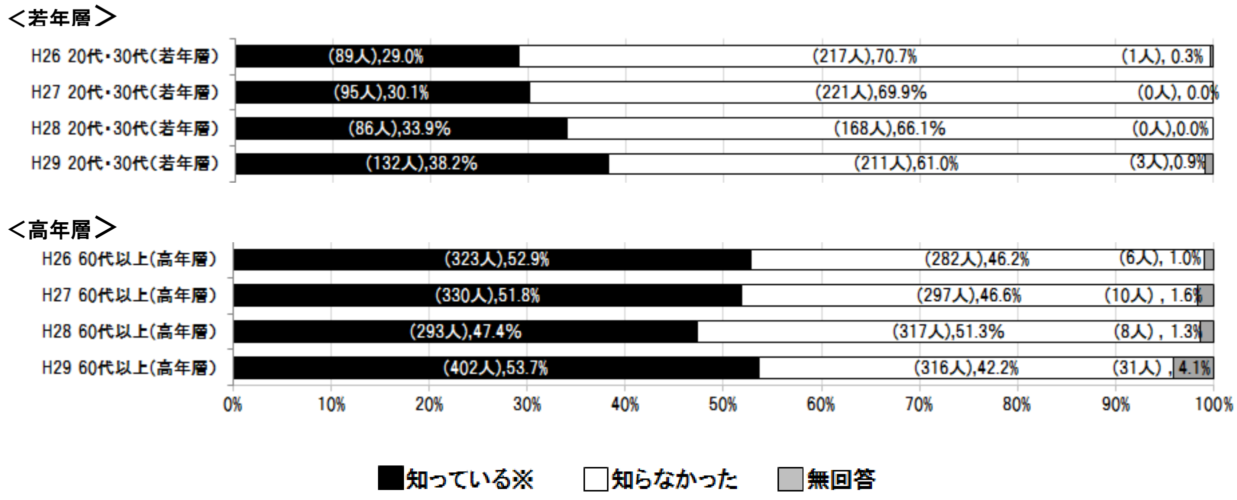
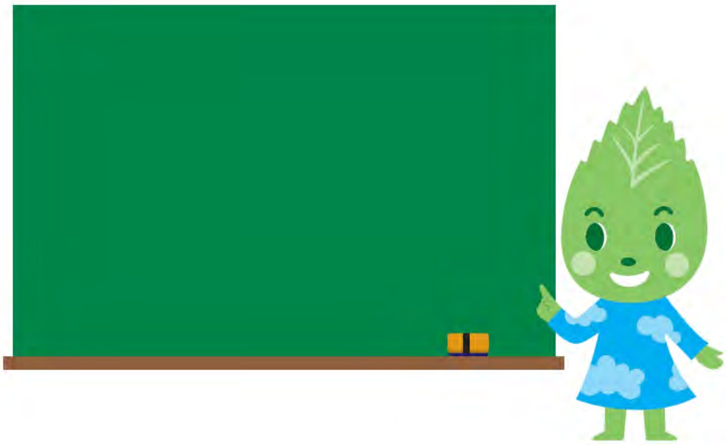
(1)　**調査の概要**

調査の対象：市民 5,000 人（住民基本台帳から無作為に抽出した満 20 歳以上の市民）
実施期間　：平成 29 年７月６日（木）から７月 21 日（金）
回収数等　：1,675 票（回収率 33.5%）
設　　問　：広報に関する質問項目は以下の３問
「横浜みどりアップ計画を知っているか」、「横浜みどり税を知っているか」、「何で知ったか」

(2)　**主な調査結果（平成 26～29 年度の４年間）**

①.「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？
計画を知っている割合は約 40%台で推移。

②年代別の傾向
知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。



※「知っている」は、「取組内容を知っている」、「あることを知っている」、「名称を見たことや聞いたことがある」の合計